

「議会改革推進に関するアンケート」（琴浦町議会）
分析レポート

2020年10月

小野達也（鳥取大学地域学部）

長曾我部まどか（鳥取大学工学部）

目次

1	分析の趣旨	1
2	定数と報酬に関する意見	4
	(1) 定数に関する意見ー単純集計結果と他自治体との比較	4
	(2) 報酬に関する意見ー単純集計結果と他自治体との比較	5
3	議会への関心	7
	(1) 議会への関心、議会だより、議会放送	7
	(2) 広報紙を読む度合いー他自治体との比較	8
	(3) 議会への関心ー他自治体との比較	9
	(4) 関心の男女差、年代差	10
	(5) 関心の強さと定数・報酬への意見の関係	11
4	議会の評価	13
	(1) 総合評価と機能別の満足度	13
	(2) 他自治体との比較	14
	(3) 評価と定数・報酬への意見の関係	15
5	評価と満足意識構造	17
	(1) 関心の強さと総合評価の関係	17
	(2) 満足度と重要度の関係	18
	(3) 議会に求める機能と総合評価の関係	21
	(4) 満足度と総合評価の関係	22
6	自由記述意見	24
	(1) 議会への関心に基づく自由記述意見の整理	24
	(2) 議会の評価等に基づく議員定数に関する意見の整理	26
	(3) 議会の評価等に基づく議員報酬に関する意見の整理	27
7	議会改革にむけてーアンケート分析の総括と提言	30
	(1) アンケートの回答と集計結果が持つ意味	30
	(2) 今回の分析から明らかになったこと	31
	(3) 提言	32
	資料	33

1. 分析の趣旨

このレポートは、琴浦町議会が実施した「議会改革推進に関するアンケート」の分析結果の報告である。分析の目的は、定数や報酬に関する意見の背景にどのような意識の状態や構造があるか、また議会運営や議員活動全般に関する町民の意識の現状と構造はどのようなものかなど、今後の議会改革に資する分析を行うことにある。

鍵となる概念は、(議会に関する) 関心と(議会の) 評価である。どのような事項に関する意見であれ、個々の回答者が当該事項やその関連領域にどの程度の関心を持っているかは、アンケートの結果を解釈する上で決定的に重要な情報である。また、定数や報酬に関する各回答者の見解は、当然議会の現状をどの程度肯定的に評価しているかにも左右されるだろう。

したがって、今回の分析は、回答者(町民)が議会にどの程度の関心をもって、議会の現状をどう評価し、その上で定数や報酬についてどのような意見を持っているか、その意識の状態と構造を探ることに重点を置いている。

また、議会の定数や報酬に関する住民アンケートを近年行っている市町村議会は20以上あると考えられ、その中から琴浦町と似た属性の町議会、及び鳥取県内の市町議会との比較も、可能な範囲で行う。

レポートの最後には、これらの分析にもとづいて、琴浦町議会として今後取り組むべきと示唆される事柄を述べる。

なお、各問の単純集計は議会事務局によって別途とりまとめられているため、本レポートでは単純集計結果の掲載は一部を除いて省いている。

<標本調査の結果データとして>

住民基本台帳からの無作為抽出が行われたが、標本サイズが1,000とやや小さいことと、回収率が24.6%と低く回収データが246名分であることから、統計学的な有意性に基づく解釈(比較や判断)はあまりできない。回答者数の大小によってその大きさが決まる標本誤差の解釈については、例として問10(項目別の満足度・重要度)に関する分析において具体的に言及する。

回収率が低いことは、一般に回答者属性の母集団からの偏りをもたらす。一般論として、多くのアンケートにおいて回答率に差が発生しがちであり、同時に回答内容にも差がみられる属性が年齢である。すなわち年齢の偏りが集計結果に大きな影響を及ぼすことがしばしばある。本アンケートの回答者の年齢構成を母集団のそれ(表1-1)と比べると、50代・60代の割合が8ポイントほど大きいなどの偏りがあるが、それほど極端ではないといえる。ただし、年齢を問わず関心が高い層に回答者が偏っているであろうことは、念頭に置く必要がある。後述する通り、回答者の議会への関心は必ずしも高くはないが、町民全体では、さらに関心が低いと考える必要がある。

なお、このアンケート(2019年11~12月の1か月弱)と実施時期が近い琴浦町「町民の満足度に関するアンケート」(2016年11~12月の43日間)の回収率は29%で、大きな差は

ない。議会に関するアンケートゆえに回収率が悪い、という訳ではない模様である。

本分析は、議会事務局において今回の分析に向けてあらためて入力されたデータを使用している。一部の数値は、当初発表された「集計結果」と異なるが、結果数字の解釈や分析内容に関わるような大きな相違はない。

表 1-1 母集団と回答者の年齢構成

年代	母集団		回答者	
	人数	割合	人数	割合
18,19	308	2.2%	0	0.0%
20代	1,059	7.5%	11	4.5%
30代	1,501	10.7%	41	16.7%
40代	1,871	13.3%	25	10.2%
50代	1,913	13.6%	52	21.1%
60代	2,517	17.9%	64	26.0%
70代	2,534	18.0%	47	19.1%
80代以上	2,368	16.8%	6	2.4%
計	14,071	100.0%	246	100.0%

注 1.母集団人口は 2019 年 11 月 1 日現在の推計人口。

注 2.母集団の 18,19 歳人口は、15～19 歳人口に 2/5 を乗じたもの。

<比較に用いた他議会の調査>

比較の対象としたのは、表 1-2 に掲げた市町の議会で行われた住民対象のアンケート結果である。その選択手順は次の通りである。

YAHOO のポータルサイトで「町議会 アンケート」と検索すると、30 団体くらいが最初の数ページに登場する。そのうち、定数や報酬に関する質問があり、人口・人口密度・高齢化率・財政規模などの点で琴浦町と大きな違いがない 4 町（伯耆町、福井県越前町、長野県佐久穂町、鹿児島県さつま町）をまず選んだ。またウェブ上で情報・データが得られる県内の（伯耆町以外の）3 市町についても、比較対象とした。

ただし、次の自治体については、調査方法について注意が必要である。本分析においては、「大まかな」比較をするのみであり、大きな支障はないと考えられる。

- ー伯耆町、さつま町：標本抽出の際、年代別に同数を抽出しており（どの年代の結果についても同程度の精度を得るため）、集計（単純集計）結果の年齢構成は母集団に比してある程度偏っている。
- ー佐久穂町：全世帯を対象に「家族のどなたでも」という依頼になっている。その結果、60 歳以上が 7 割など、年齢構成の偏りが大きい。
- ー日南町：自治会経由で全世帯に配布し、全世帯員に回答を依頼。

表 1-2 比較対象とした自治体

		人口 (2015)	高齢化 率	人口 密度	歳入 (2017)	財政力 指数	調査時期	調査方法	標本 サイズ	回答者 数	回収 率
琴浦町	鳥取県	17,416	34.4%	124	11,763	0.32	2019.11-12	R.S.	1,000	246	24.6%
伯耆町	鳥取県	11,118	36.3%	80	7,449	0.31	2017.11-12	R.S. (年代別同数)	2,000	745	37.3%
越前町	福井県	21,538	31.3%	141	14,220	0.35	2019.8	R.S.	2,000	521	26.2%
佐久穂町	長野県	11,186	35.3%	59	8,088	0.23	2018.4	全世帯、家族 のどなたでも	全4,301 世帯	1,447通	33.6%
さつま町	鹿児島県	22,400	37.8%	74	15,793	0.35	2019.8	R.S. (年代別同数)	1,000	380	38.0%
鳥取市	鳥取県	193,717	26.3%	253	102,870	0.52	2012.8	R.S.	2,000	691	34.6%
境港市	鳥取県	34,174	30.4%	1174	17,099	0.55	2019.1-3	R.S.	2,000	648	32.4%
日南町	鳥取県	4,765	49.2%	14	7,098	0.15	2016.11-12	自治会経由+ HP	4,488 (全人口)	1,353	30.1%

注：R.S.とは Random Sampling（無作為抽出法）の略。

2. 定数と報酬に関する意見

(1) 定数に関する意見—単純集計結果と他自治体との比較

定数についての意見を求めた問 12 の回答は表 2-1 の通りである。

- ・「多い」が 1/4、「やや多い」を合わせると半数を超える。
- ・「適当」も 4 割を超えるが、ここには「現在の定数が適当」という積極的意見の他に、「多いとも少ないともいえない」という消極的意見や「わからない」（わからない回答者は③を選ぶか無回答にするかの選択を迫られるだろう）も含まれると考えられる。

表 2-1 定数に関する意見（問 12 の単純集計結果）

【問12】現在の議員定数（16人）についてどのように思われますか。（後略）		回答数	割合
①多い		58	25.3%
②やや多い		72	31.4%
③適当		96	41.9%
④やや少ない		3	1.3%
⑤少ない		0	0.0%
99無回答		17	-
	合計	246	100.0%

○他自治体との比較

定数に関する回答状況を他自治体の議会と比べたのが表 2-2 である。

- ・大まかには、どこでも似たような状況といえる。（鳥取市を除く）。すなわち、「少ない」（少なすぎる、増やすべき）は多くても 5%未満である一方、「多い」（多すぎる、減らすべき）は 4 割から 2/3 を占めている。琴浦町と属性が似ている町に限れば、その割合は 5 割前後である。
- ・鳥取市については、人口規模の大きい都市であることや、アンケートが実施された時期が、紆余曲折のあった市庁舎の整備方針を問う住民投票が実施された 2012 年 5 月（投票に至る過程で市議会に対する批判も少なくなかった）の直後であったことなどの影響が考えられる。
- ・「地方議会の定数をどうすべきか」と尋ねれば、多くの人は「減らすべき」というが、実は自分のところの議会定数を知らないで言っている人が多いという指摘がある。佐久穂町では「定員が 14 人であることを知っていますか」との問いに「知っている」70.7%、「知らなかった」26.7%。鳥取市では「定数が 36 人であることを知っていましたか」との問い

に「知っていた」46.9%、「知らなかった」46.5%。ただし、佐久穂町の高い比率は、上述の通り回答者が高齢層に偏っていることがその原因として考えられる。なお、どの自治体においても回収率は3割前後であり、回答者という比較的関心が高い層の数字である。

表 2-2 定数に関する意見－他自治体との比較

琴浦町 (16人)		伯耆町 (14人)		越前町 (14人)		佐久穂町 (14人)		さつま町 (16人)		日南町 (12人)		境港市 (16人)		鳥取市 (36人)	
選択肢	割合	選択肢	割合	選択肢	割合	選択肢	割合	選択肢	割合	選択肢	割合	選択肢	割合	選択肢	割合
多い	25.3%	減員すべき	53.9%	多すぎる	42%	多い	54.4%	現行より少ないのがよい	48.0%	多い	66.4%	多い	19.5%	減らすべき	80.3%
やや多い	31.4%														
適当	41.9%	現状程度がよい	43.5%	適当である	55%	適当	44.1%	現行でよい	48.3%	ちょうど良い	31.3%	適当	46.0%	現在の定数でよい	17.3%
やや少ない	1.3%	増員すべき	2.6%	少なすぎる	3%	少ない	1.6%	現行より多いのがよい	3.8%	少ない	2.3%	やや少ない	3.9%	増やすべき	2.4%
少ない	0.0%														
		わからない	(26.3%)	わからない	(33%)	わからない	(20.5%)			わからない	(12.8%)			わからない	(22.6%)

注 1. 「わからない」と無回答を除いた百分率を掲載。報告書に実数が掲載されていない場合は、掲載された比率を用いて計算している。

注 2. 「わからない」の欄には、回答者全体に対する割合の百分率を掲載。

(2) 報酬に関する意見－単純集計結果と他自治体との比較

現状の報酬月額についての意見を求めた問 13 の回答は表 2-3 の通りである。

- ・「多い」「やや多い」がともに約2割で、合わせると4割超となる。
- ・「適当」も4割を超えるが、「定数」に関する表 2-1 と同様、そこには「現在の報酬が適当」という積極的意見の他に、「多いとも少ないともいえない」という消極的意見や「わからない」（わからない回答者は③を選ぶか無回答にするかの選択を迫られるだろう）も含まれると考えられる。

表 2-3 報酬に関する意見（問 13 の単純集計結果）

【問13】（前略）琴浦町議会議員報酬は、月額224,000円ですが、どう思われますか。				
			回答数	割合
①	多い		49	21.3%
②	やや多い		46	20.0%
③	適当		101	43.9%
④	やや少ない		25	10.9%
⑤	少ない		9	3.9%
99	無回答		16	-
	合計		246	100.0%

○他自治体との比較

報酬に関する回答状況を他自治体の議会と比べたのが表 2-4 である。

- ・大まかには、さつま町を除き、どこも似たような状況といえる。すなわち、「多い」（多すぎる）が 4～5 割を占める一方、「少ない」（少なすぎる）は多くても 10% 台半ばにとどまる。
- ・さつま町は「現行より高いのがよい」が多く、「現行より高いのがよい」がやや少ないが、これは注 3 の通り「あなたがもし議員になるとしたら、議員報酬は月額どれくらいが適当だと思いますか。」と尋ねた結果である。

表 2-4 報酬に関する意見－他自治体との比較

琴浦町 (22.4万)		越前町 (24万)		佐久穂町 (18.5万)		さつま町 (23.6万)		境港市 (38.5万)	
選択肢	割合	選択肢	割合	選択肢	割合	選択肢	割合	選択肢	割合
多い	21.3%	多すぎる	39%	多い	45.9%	現行より低いのがよい	35.4%	多い	26.5%
やや多い	20.0%							やや多い	27.0%
適当	43.9%	適当である	49%	今のままでよい	42.0%	現行でよい	42.1%	適当	40.3%
やや少ない	10.9%	少なすぎる	12%	少ない	12.1%	現行より高いのがよい	22.5%	やや少ない	4.7%
少ない	3.9%							少ない	1.5%
		わからない	(33%)	わからない	(24.1%)				

注 1. 「わからない」と無回答を除いた百分率を掲載。報告書に実数が掲載されていない場合は、掲載された比率を用いて計算している。

注 2. 「わからない」の欄には、回答者全体に対する割合の百分率を掲載。

注 3. さつま町では、「さつま町議会議員の報酬は月額〇円ですが、あなたがもし議員になるとしたら、議員報酬は月額どれくらいが適当だと思いますか。」と尋ねている。

3. 議会への関心

(1) 議会への関心、議会だより、議会放送

一般に、関心や知識を有する層の意見の方が関心や知識を欠いている層の意見よりも、根拠のある、明確な意見であろう。一方で、今回のアンケートでは、問6（「琴浦町議会に関心がありますか」）への回答が「ある」1割強、「少しはある」3割強という状態であり、半数以上を占める「関心が強くない層」の（意見というより）感覚にも注目する必要がある。本来は、過半数の「関心が強くない層」には関心を持ってもらったうえで、意見を聞くのが望ましいともいえる。

琴浦町民の議会への関心の度合いについて、関心に関わる3問（問4,6,8）のクロス集計の結果を表3-1に示す。問7（傍聴経験）は95%が「ない」と回答しており、ここでは取り上げない。

表3-1 議会への関心に係る3問の関係

		問6. 琴浦町議会に関心があるか					計	問8. TCCで視聴したことがあるか				計
		1	2	3	4	5		1	2	3	4	
		ある	少しはある	どちらともいえない	あまりない	ない		各会期1回以上	年に数回	年に1回程度	ない	
問4	1 毎回読む	19	16	10	2	1	48	7	27	5	10	49
「議会だより」を読んだことがあるか	2 ときどき読む	8	49	18	16	3	94	6	26	22	40	94
	3 読んだことがある	1	14	23	22	4	64	1	15	19	28	63
	4 読んだことがない	1	2	7	13	9	32	0	3	6	22	31
	5 知らない	0	1	2	1	2	6	0	0	1	5	6
	計	29	82	60	54	19	244	14	71	53	105	243
問6	1 ある							7	15	3	4	29
琴浦町議会に関心があるか	2 少しはある							4	33	14	30	81
	3 どちらともいえない							1	12	21	25	59
	4 あまりない							1	8	8	36	53
	5 ない							0	2	7	10	19
	計							13	70	53	105	241

- ・これら3問への回答分布は、当然のことながら、互いに一定の相関がある。
- ・3問の回答間の相関係数は次の通り。

問4-問6	0.524
問4-問8	0.382
問6-問8	0.391

- ・この差の背景には、問8の回答は「ない」が4割を占めるなど、関心が低い方へ偏っていることがある。また、問6で直接尋ねた関心の程度との関係でいえば、世帯に配られる広報紙を読むという行動(問4)に比べて、ケーブルテレビで視聴するという行動(問8)の方が「距離」があることを示唆する。
- ・問4・問8は、議会への関心にとどまらず、関心に基づく行動を尋ねており、議会の活動に関する知識にも関わると考えられる。ただし、問6の関心と、問4・問8の行動との関係は、互いに原因と結果両方の側面が含まれるだろう。

(2) 広報紙を読む度合い—他自治体との比較

議会の広報紙を読んでいる程度(琴浦町では読む頻度)を尋ねた問4の回答を、他自治体の議会と比べたのが表3-2である。

表3-2 広報紙を読んでいるか—他自治体との比較

琴浦町(24.6%)		伯耆町(37.3%)		越前町(26.2%)		佐久穂町(33.6%)		さつま町(38.0%)	
選択肢	割合	選択肢	割合	選択肢	割合	選択肢	割合	選択肢	割合
毎回読む	19.9%	ほとんど全部読んでいる	16.4%	いつも読む	25%	全部読んでいる	39.5%	毎回読んでいる	29.5%
ときどき読む	38.6%	関心のある記事だけ読む	43.2%	ときどき読む	35%	関心のある記事だけ読む	52.9%	時々読んでいる	35.3%
読んだことがある	26.0%	ほとんど読んでいない	21.8%	ほとんど読まない	29%	—	—	1~2回読んだことがある	15.0%
読んだことがない	13.0%	まったく読んでいない	18.6%	知らない・見たことがない	11%	読んでいない	5.4%	読んだことはない	17.1%
知らない	2.4%					知らない	2.1%	議会だよりを知らない	3.1%

日南町(30.1%)		境港市(32.4%)		鳥取市(34.6%)	
選択肢	割合	選択肢	割合	選択肢	割合
良く読む	37.8%	毎回読む	14.8%	どの記事も読む	9.5%
たまたま読む	50.0%	ときどき読む	16.8%	関心のある記事だけ読む	60.2%
読んだことがない	12.2%	読んだことはある	34.9%	存在は知っているが読まない	20.9%
		読んだことはない	14.2%	存在すら知らない	9.4%
		知らない	19.3%		

- ・各アンケートにおける、具体的な質問の表現は次の通り。

琴浦町：議会広報紙「議会だより」を読まれたことがありますか。

伯耆町：あなたは、ここ1～2年の間で町議会だより（年4回発行）を読んでいますか。

越前町：「議会だより」を読まれたことはありますか。

佐久穂町：「町議会だより」を読んでいますか。

さつま町：（前略）…に「議会だより」を発行していますが、あなたは「議会だより」を読んだことがありますか。

日南町：議会広報「議会だより」を読まれたことはありますか。

境港市：あなたは市議会だより「つなぐ」を読んだことがありますか。

鳥取市：鳥取市議会だよりを読んでいますか。

- ・属性の似た自治体との比較では、琴浦町と同様に読む頻度を尋ねた越前町とは概ね似た分布となっている一方、さつま町よりやや低調な状況である。
- ・広報紙の内容をどれだけ読んでいるかを尋ねた伯耆町とも、5段階評価・4段階評価としては似た結果となっている。佐久穂町でよく読まれているのは、回答者の偏りによるところがあると考えられる。
- ・県内自治体をみると、琴浦町と比べて日南町ではよく読まれており、境港市ではやや低調である。

（3）議会への関心—他自治体との比較

議会への関心を尋ねた問6の回答を、他自治体の議会と比べたのが表3-3である。

- ・類似属性の自治体では、回答者の偏りがある佐久穂町を除いて、概ね似た分布である。
- ・越前町では、「ある」の回答が10ポイントほど多い。「少しある」も10ポイント多いが、これは「どちらとも言えない」という「中程度の度合い」と「わからない」に該当する選択肢がないことの影響であろう。
- ・県内自治体では、境港市はやや低調である。一方、鳥取では関心が高いが、これはアンケートの直前に市庁舎整備を巡る住民投票があったことが影響していると考えられる。

表 3-3 議会に関心はあるか—他自治体との比較

琴浦町 (24.6%)		越前町 (26.2%)		佐久穂町 (33.6%)		さつま町 (38.0%)	
選択肢	割合	選択肢	割合	選択肢	割合	選択肢	割合
ある	11.9%	ある	23%	関心がある	32.2%	とても関心がある	13.0%
少しはある	33.6%	少しある	43%	少し関心がある	50.1%	少し関心がある	36.4%
どちらとも言えない	24.6%	—	—	—	—	—	—
あまりない	22.1%	ない	34%	関心がない	17.8%	あまり関心がない	40.8%
ない	7.8%					全く関心がない	9.8%

境港市 (32.4%)		鳥取市 (34.6%)	
選択肢	割合	選択肢	割合
ある	9.5%	ある	27.6%
まあまあある	25.4%	少しある	47.5%
どちらとも言えない	26.2%	—	—
あまりない	27.8%	ない	24.9%
ない	11.1%		

・各アンケートにおける、具体的な質問の表現は次の通り。

琴浦町：あなたは、琴浦町議会に関心がありますか。

越前町：町議会に関心がありますか。

佐久穂町：町議会に関心がありますか。

さつま町：あなたはさつま町議会に関心がありますか。

境港市：あなたは市議会に関心がありますか。

鳥取市：市議会に関心がありますか。

(4) 関心の男女差、年代差

議会への関心に関わる問 4・問 6・問 8 について、男女別及び 10 歳刻みの年齢階級別の回答状況を比べたのが表 3-4 である。

- ・関心について、男性>女性、高齢層>若年層の傾向は明らかである。
- ・議会への関心についての「高齢層>若年層」という傾向は、同様の集計のある境港市、日南町でも同様である。
- ・議会への関心についての「男性>女性」という傾向は、同様の集計のある境港市でも同様である。

表 3-4 男女別、年齢階級別の関心

		人数	問4. 「議会だより」を読んだことがあるか					問6. 琴浦町議会に関心があるか					問8. TCCで視聴したことがあるか						
			1	2	3	4	5	計	1	2	3	4	5	計	1	2	3	4	計
			毎回読む	ときどき読む	読んだことがある	読んだことがない	知らない		ある	少しはある	どちらともいえない	あまりない	ない		各会期1回以上	年に数回	年に1回程度	ない	
回答者全体		246	19.9%	38.6%	26.0%	13.0%	2.4%	100.0%	11.9%	33.6%	24.6%	22.1%	7.8%	100.0%	5.8%	29.2%	21.8%	43.2%	100.0%
問1	男	107	24.3%	41.1%	18.7%	13.1%	2.8%	100.0%	19.8%	34.0%	19.8%	19.8%	6.6%	100.0%	8.5%	32.1%	22.6%	36.8%	100.0%
	女	137	16.1%	37.2%	31.4%	13.1%	2.2%	100.0%	5.9%	33.8%	27.9%	23.5%	8.8%	100.0%	3.7%	27.4%	20.7%	48.1%	100.0%
問2	20代	11	0.0%	9.1%	18.2%	54.5%	18.2%	100.0%	0.0%	9.1%	18.2%	54.5%	18.2%	100.0%	0.0%	0.0%	9.1%	90.9%	100.0%
	30代	41	4.9%	26.8%	39.0%	24.4%	4.9%	100.0%	2.4%	34.1%	31.7%	22.0%	9.8%	100.0%	0.0%	17.1%	36.6%	46.3%	100.0%
	40代	25	20.0%	36.0%	28.0%	16.0%	0.0%	100.0%	4.0%	28.0%	36.0%	28.0%	4.0%	100.0%	0.0%	24.0%	16.0%	60.0%	100.0%
	50代	52	19.2%	44.2%	25.0%	9.6%	1.9%	100.0%	11.5%	28.8%	25.0%	23.1%	11.5%	100.0%	3.9%	27.5%	21.6%	47.1%	100.0%
	60代	64	25.0%	42.2%	23.4%	7.8%	1.6%	100.0%	15.9%	33.3%	23.8%	19.0%	7.9%	100.0%	6.3%	35.9%	26.6%	31.3%	100.0%
	70代	47	31.9%	48.9%	17.0%	2.1%	0.0%	100.0%	21.7%	47.8%	13.0%	15.2%	2.2%	100.0%	17.4%	41.3%	8.7%	32.6%	100.0%
	80代以上	6	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	100.0%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	100.0%	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%	100.0%

(5) 関心の強さと定数・報酬への意見の関係

議会への関心の強さに関わる問4・問6・問8の回答と定数・報酬に関する意見(問12・問13)の関係を表3-5に示す。

表 3-5 関心の強さ(問4・6・8)と定数・報酬に関する意見の関係

		問12. 議員定数について							問13. 議員報酬について						
		人数	1 多い	2 やや多い	3 適当	4 やや少ない	5 少ない	計	人数	1 多い	2 やや多い	3 適当	4 やや少ない	5 少ない	計
回答者計		229	25.3%	31.4%	41.9%	1.3%	0.0%	100.0%	230	21.3%	20.0%	43.9%	10.9%	3.9%	100.0%
問4	1 毎回読む	46	34.8%	39.1%	26.1%	0.0%	0.0%	100.0%	47	23.4%	23.4%	38.3%	6.4%	8.5%	100.0%
「議会だより」を読んだことがあるか	2 とときどき読む	89	27.0%	30.3%	40.4%	2.2%	0.0%	100.0%	88	15.9%	21.6%	44.3%	14.8%	3.4%	100.0%
	3 読んだことがある	59	22.0%	25.4%	52.5%	0.0%	0.0%	100.0%	60	28.3%	18.3%	40.0%	10.0%	3.3%	100.0%
	4 読んだことがない	29	13.8%	34.5%	51.7%	0.0%	0.0%	100.0%	29	20.7%	17.2%	55.2%	6.9%	0.0%	100.0%
	5 知らない	6	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	100.0%	6	16.7%	0.0%	66.7%	16.7%	0.0%	100.0%
問6	1 ある	29	24.1%	34.5%	37.9%	3.4%	0.0%	100.0%	27	11.1%	18.5%	48.1%	11.1%	11.1%	100.0%
琴浦町議会に関心があるか	2 少しはある	78	24.4%	37.2%	37.2%	1.3%	0.0%	100.0%	78	17.9%	23.1%	38.5%	16.7%	3.8%	100.0%
	3 どちらともいえない	55	10.9%	34.5%	52.7%	1.8%	0.0%	100.0%	56	10.7%	21.4%	51.8%	12.5%	3.6%	100.0%
	4 あまりない	47	38.3%	19.1%	42.6%	0.0%	0.0%	100.0%	48	31.3%	14.6%	50.0%	2.1%	2.1%	100.0%
	5 ない	18	38.9%	27.8%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%	19	52.6%	15.8%	26.3%	5.3%	0.0%	100.0%
問8	1 各会期1回以上	14	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	100.0%	13	30.8%	23.1%	7.7%	30.8%	7.7%	100.0%
TCCで視聴したことがあるか	2 年に数回	67	23.9%	40.3%	34.3%	1.5%	0.0%	100.0%	69	18.8%	21.7%	40.6%	11.6%	7.2%	100.0%
	3 年に1回程度	50	20.0%	28.0%	50.0%	2.0%	0.0%	100.0%	49	12.2%	22.4%	53.1%	8.2%	4.1%	100.0%
	4 ない	95	26.3%	27.4%	45.3%	1.1%	0.0%	100.0%	96	26.0%	17.7%	45.8%	9.4%	1.0%	100.0%

- ・概ね傾向として指摘できるのは、以下の通り。ただし人数の少ない選択肢では、この限りではない。
- ・問6の関心が低い層(「あまりない」「ない」)では、定数を「多い」、報酬を「多い」とする傾向が強い。
- ・問6で「どちらともいえない」層は、定数・報酬を「適当」とする割合が高いが、これ

- は定数・報酬について「多いとも少ないともいえない」という意識を含むと考えられる。
- ・関心にもとづく具体的な行動を尋ねた問4・問8で、行動の頻度が最も高い層（「毎回読む」「各会期1回以上（視聴する）」）は、定数・報酬とも「多い」「やや多い」とする傾向が強い。
 - ・総じていえば、無関心層と関心に基づく行動が積極的な層の双方において、定数・報酬を多いとする傾向があるといえる。

4. 議会の評価

(1) 総合評価と機能別の満足度

今回のアンケートでは、町議会の現状を評価する問いとして、「今の町議会を総合的に評価できると思いますか」という直接的かつ包括的に評価を求める問9と、「議会が果たすべき役割」として4項目を挙げ、満足度（5段階評価）を求める形で評価を求める問10（重要度も併せて問うている）がある。

問9及び問10（満足度部分）の回答分布をクロス集計の形で整理したのが表4-1である。

表4-1 議会の評価に係る2問（総合評価と議会の機能別満足度）の関係

		回答者計	問10. 議会が果たすべき役割について（満足度）																			
			①町長や行政に対するチェック機能					②条例の制定・政策提言					③町民意見の町政への反映					④町民への説明責任・情報提供				
			低い				高い	低い				高い	低い				高い	低い				高い
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
問9	1 思う	11	0	1	4	2	3	0	0	5	4	1	0	2	4	3	1	0	3	3	3	1
今の町議会を総合的に評価できるか	2 少しは思う	37	1	2	28	5	0	1	3	26	4	1	0	6	23	5	1	0	10	21	4	0
	3 どちらとも言えない	119	6	27	63	11	2	4	35	63	5	1	7	35	61	4	2	8	35	58	6	2
	4 あまり思わない	74	22	21	22	4	2	26	27	15	1	2	34	17	17	1	3	31	20	16	2	2
回答者計		241	30	52	118	22	7	32	67	109	14	5	42	62	105	13	7	41	69	98	15	5

- ・問9及び問10の4項目全てにおいて、否定的評価が肯定的評価を大きく上回る状況である。
- ・問9の「どちらともいえない」は回答者の約半数が選んだが、「肯定的とも否定的ともいえない中程度」の他に「わからないから、どちらともいえない」という意味での回答が相当数含まれていると考えるべきだろう。問10の各項目についても、5段階評価の「3」が4割から約半数を占めるが、問9と同様のことが考えられる。
- ・問9と問10各項目の満足度の相関は（当然のことながら）明確である。ただし、問10①~④で満足度5の層は、選択した人数は少ないものの問9の評価が必ずしも高くない（項目②~④では逆の傾向である）。問9と問10で評価の方向（選択肢の数字の大小と評価の良し悪しの関係）が逆であるため、回答ミス（問9と同様に低い評価のつもりで「5」を選択）の可能性も排除できない。

(2) 他自治体との比較

他自治体における議会の総合的な評価または総合的な満足度との比較を表 4-2 に示す。

表 4-2 議会の現状を評価するか—他自治体との比較

琴浦町		越前町 (満足)		佐久穂町		さつま町	
選択肢	割合	選択肢	割合	選択肢	割合	選択肢	割合
思う	4.6%	満足している	19%	評価する	9.8%	とても評価する	7.0%
少しは思う	15.4%			ある程度評価する	56.7%	ある程度は評価する	66.1%
どちらとも言えない	49.4%	—	—	—	—	—	—
あまり思わない	30.7%	満足していない	81%	あまり評価しない	27.1%	それほど評価しない	21.3%
				まったく評価しない	6.5%	全く評価しない	5.6%
		わからない	(68%)	わからない	(23.0%)	わからない	(22.4%)

日南町		境港市		鳥取市		鳥取市 (満足)	
選択肢	割合	選択肢	割合	選択肢	割合	選択肢	割合
大いに評価する	5.6%	思う	1.6%	かなり評価する	2.2%	満足している	2.3%
ある程度評価する	55.2%	まあ思う	14.0%	評価する	18.1%	やや満足している	20.3%
—	—	どちらとも言えない	52.9%	—	—	—	—
あまり評価しない	34.9%	あまり思わない	19.8%	あまり評価しない	58.0%	やや不満である	44.4%
まったく評価しない	4.4%	思わない	11.7%	評価しない	21.6%	不満である	33.0%
わからない	(19.4%)			わからない	(35.7%)	わからない	(45.9%)

注 1. 「わからない」と無回答を除いた百分率を掲載。報告書に実数が掲載されていない場合は、掲載された比率を用いて計算している。

注 2. 「わからない」の欄には、回答者全体に対する割合の百分率を掲載。

- ・各アンケートにおける、具体的な質問の表現は次の通り。

琴浦町：あなたは、今の町議会を総合的に評価できると思いますか。

越前町：現在の町議会および議員の活動に満足していますか

佐久穂町：今の町議会をどの様に評価しますか

さつま町：これまでさつま町議会では、議会運営の活性化のため次のような取り組みを進めてきましたが、あなたはさつま町議会をどのように評価しますか。(後略)

日南町：総合的にみて日南町議会の活動をどのように評価されますか。

境港市：あなたは今の市議会を総合的にみて評価できると思いますか。

鳥取市：あなたは現在の市議会を評価しますか

鳥取市（満足）：市議会議員の活動に満足していますか。

- ・類似属性の自治体との比較では、質問の趣旨や形式が異なる越前町を除く佐久穂町・さつま町とは、概ね同様の状況といえる。まず、否定的評価の割合は同程度である。また、両町において肯定的評価の2区分の割合が高いことには、佐久穂町の回答者の高齢層への偏り、さつま町の質問がこれまでの議会運営の活性化のための取り組みが具体的に述べられていることの影響が考えられる。さらに、両町の「ある程度（は）評価できる」の割合が大きいことは、琴浦町にある「どちらともいえない」の選択肢がないこと（「わからない」はある）の影響もあろう。
- ・県内自治体との比較では、日南町はやや肯定的評価が多め（ただし「どちらとも言えない」がないことの影響はあろう）だが、否定的評価も多く、大きな違いはないというべきだろう。境港市も概ね似たような状況にある。

（3）評価と定数・報酬への意見の関係

問12（定数）及び問13（報酬）への回答は、議会の現状への評価と一定の相関があると考えられる。すなわち、現状の評価が高ければ定数が多い（多すぎる、減らすべき）、報酬が多い（多すぎる、減らすべき）と考える傾向は弱いだろう。

現状の評価とは独立の理由（人口減少、財政事情、立候補者の減少など）で、問12・問13の選択をすることも考えられるが、上とは逆の因果関係（高く評価するがゆえに定数・報酬を減らすべきと考える）はあまり考えられない。

さて、琴浦町において、議会の現状の評価は、どれくらい定数・報酬に関する意見を左右しているだろうか。表4-3は、総合評価（問9）及び項目別満足度（問10）における評価の度合いによって、定数（問12）及び報酬（問13）に関する意見の分布がどのように変わるかを示したものである。

- ・問10①~④の「満足度5」（人数は少ない…表4-1の解釈において述べた疑問あり）を除き、総合的評価と議会の機能別満足度の双方において、高評価層では定数・報酬について「やや少ない」「少ない」という回答の割合が高く、低評価層では定数・報酬について「多い」「やや多い」という回答の割合が高くなる傾向が共通して見られる。
- ・定数に関する意見と評価の関係については、今回の比較自治体の中で唯一両者のクロス集計を行っている日南町でも、同様の傾向がみられる。日南町では、町民の声の反映、政策提案、チェック機能、総合の4つの観点から4段階評価を行っている。

表 4-3 評価の程度（問 9・10）と定数・報酬に関する意見の関係

		問12. 議員定数について							問13. 議員報酬について						
		人数	1 多い	2 やや多い	3 適当	4 やや少ない	5 少ない	計	人数	1 多い	2 やや多い	3 適当	4 やや少ない	5 少ない	計
回答者計		229	25.3%	31.4%	41.9%	1.3%	0.0%	100.0%	230	21.3%	20.0%	43.9%	10.9%	3.9%	100.0%
問9 今の町議会を総合的に評価できるか	1 思う	11	9.1%	18.2%	63.6%	9.1%	0.0%	100.0%	10	0.0%	30.0%	30.0%	20.0%	20.0%	100.0%
	2 少しは思う	37	21.6%	24.3%	51.4%	2.7%	0.0%	100.0%	35	17.1%	20.0%	45.7%	14.3%	2.9%	100.0%
	3 どちらとも言えない	108	13.0%	35.2%	51.9%	0.0%	0.0%	100.0%	111	14.4%	19.8%	55.0%	9.9%	0.9%	100.0%
	4 あまり思わない	69	49.3%	31.9%	17.4%	1.4%	0.0%	100.0%	70	37.1%	20.0%	27.1%	8.6%	7.1%	100.0%
問10 (満) ①町長や行政に対するチェック機能	1 低い	29	58.6%	31.0%	10.3%	0.0%	0.0%	100.0%	30	60.0%	13.3%	20.0%	0.0%	6.7%	100.0%
	2	48	25.0%	39.6%	33.3%	2.1%	0.0%	100.0%	50	20.0%	28.0%	38.0%	10.0%	4.0%	100.0%
	3	116	15.5%	30.2%	52.6%	1.7%	0.0%	100.0%	113	11.5%	22.1%	47.8%	14.2%	4.4%	100.0%
	4	20	20.0%	30.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	21	9.5%	4.8%	66.7%	19.0%	0.0%	100.0%
	5 高い	7	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	100.0%	5	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
問10 ②条例の制定・政策提言	1 低い	30	56.7%	33.3%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%	32	56.3%	12.5%	21.9%	3.1%	6.3%	100.0%
	2	64	28.1%	39.1%	31.3%	1.6%	0.0%	100.0%	65	21.5%	23.1%	38.5%	10.8%	6.2%	100.0%
	3	106	14.2%	27.4%	56.6%	1.9%	0.0%	100.0%	104	10.6%	21.2%	53.8%	12.5%	1.9%	100.0%
	4	13	7.7%	30.8%	61.5%	0.0%	0.0%	100.0%	12	0.0%	16.7%	41.7%	33.3%	8.3%	100.0%
	5 高い	5	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%	4	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
問10 ③町民意見の町政への反映	1 低い	40	60.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%	41	51.2%	17.1%	22.0%	2.4%	7.3%	100.0%
	2	59	22.0%	39.0%	37.3%	1.7%	0.0%	100.0%	61	18.0%	24.6%	37.7%	13.1%	6.6%	100.0%
	3	102	14.7%	27.5%	55.9%	2.0%	0.0%	100.0%	100	11.0%	19.0%	56.0%	12.0%	2.0%	100.0%
	4	12	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%	11	9.1%	18.2%	45.5%	27.3%	0.0%	100.0%
	5 高い	7	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%	6	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	100.0%
問10 ④町民への説明責任・情報提供	1 低い	39	59.0%	25.6%	15.4%	0.0%	0.0%	100.0%	41	56.1%	9.8%	22.0%	9.8%	2.4%	100.0%
	2	66	16.7%	40.9%	40.9%	1.5%	0.0%	100.0%	66	13.6%	28.8%	43.9%	9.1%	4.5%	100.0%
	3	95	16.8%	26.3%	54.7%	2.1%	0.0%	100.0%	92	12.0%	19.6%	52.2%	12.0%	4.3%	100.0%
	4	14	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%	100.0%	15	6.7%	20.0%	46.7%	20.0%	6.7%	100.0%
	5 高い	5	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%	4	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	100.0%

5. 評価と満足の意識構造

ここでは、町民と議会の関係において、重要な意味をもつ議会の評価（問9の「総合的な評価」）について、他の項目との関係や背景にある意識の構造を探ることとする。

（1）関心の強さと総合評価の関係

表5-1は、議会への関心の強さ（問6）と関心がもたらす行動の程度（問4・問8）によって、議会を総合的に評価する回答の分布がどのように変わるかを示したものである。

次のようなことが読み取れる。

- ・関心が低い層は、評価が低くなる傾向がある。
- ・一方、関心が高い層では、高評価と低評価への二極化が見られる。
- ・あえて単純化すれば、関心が低い層の見解は「世論」（せろん、世間の雰囲気や感情）であり、関心が高い層の見解は「輿論」（よろん、市民の意見）に相当するだろう。

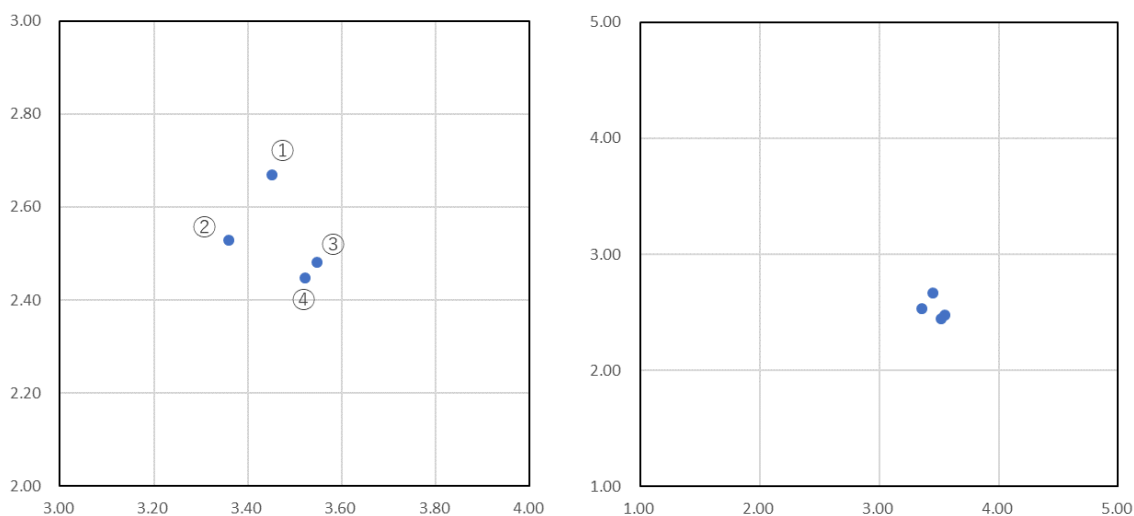
表5-1 関心と総合的な評価の関係

		問9. 町議会を総合的に評価できると思うか					
		1 思う 2 少しは思う 3 どちらとも言えない 4 あまり思わない					
			1	2	3	4	
		241	4.6%	15.4%	49.4%	30.7%	
問4	1 毎回読む	1	48	10.4%	16.7%	29.2%	43.8%
	2 ときどき読む	2	93	5.4%	20.4%	45.2%	29.0%
	3 読んだことがある	3	64	1.6%	14.1%	59.4%	25.0%
	4 読んだことがない	4	30	0.0%	3.3%	73.3%	23.3%
	5 知らない	5	6	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
問6	1 ある	1	28	21.4%	21.4%	17.9%	39.3%
	2 少しはある	2	81	6.2%	24.7%	44.4%	24.7%
	3 どちらとも言えない	3	59	0.0%	10.2%	72.9%	16.9%
	4 あまりない	4	52	0.0%	5.8%	50.0%	44.2%
	5 ない	5	19	0.0%	5.3%	47.4%	47.4%
問8	1 各会期1回以上	1	13	7.7%	30.8%	23.1%	38.5%
	2 年に数回	2	71	11.3%	23.9%	38.0%	26.8%
	3 年に1回程度	3	53	1.9%	9.4%	60.4%	28.3%
	4 ない	4	102	1.0%	9.8%	54.9%	34.3%

(2) 満足度と重要度の関係

今回のアンケートの間 10 は、いわゆる CS 調査 (Customer Satisfaction Survey, 顧客満足度調査) と同様の設問である。すなわち、間 10 において、議会が果たすべき役割として①町長や行政に対するチェック機能、②条例の制定・政策提言、③町民意見の町政への反映、④町民への説明責任・情報提供、の 4 機能を挙げ、満足度と重要度の 5 段階評価を求めている。これは CS 調査における質問形式の 1 つの標準形であり、まずはその作法に則り、満足度 (平均点) と重要度 (平均点) を両軸に取った散布図を描いたのが図 5-1 である。

図 5-1 満足度 (縦軸) × 重要度 (横軸) - 回答者全体



注：右図は目盛りを最低点 1 から最高点 5 までの範囲で描いたもの。左図は両軸の範囲を 1 に拡大して描いたもの。

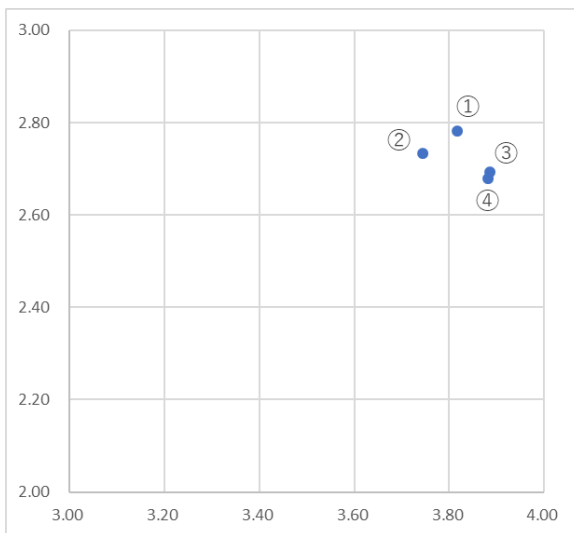
- ・ CS 調査的分析において、もっとも注目すべきは重要度が高く満足度が低い領域、すなわち図中の右下の領域である。右下に位置する項目ほど、改善余地・ニーズが大きいとされる。図 5-1 において、この観点からは機能③④の改善余地・ニーズが (相対的に) 大きく、機能①②のそれは (相対的に) 小さいことになる。
- ・ この図を右図のように描くと、満足度も重要度も差が非常に小さいようにみえる。この差に意味がある (と考えるべき) か否かは、統計学的に吟味することもできる。
- ・ このケース (回答者全員の集計) で、機能①と②の満足度平均点の差は 0.14 ($2.67-2.53=0.14$) だが、統計的検定を行うと、これは有意水準 5% (有意水準とは、本当は (母集団では) 差がないにもかかわらずこの標本でたまたま差が生じたかもしれない確率、特段の意味はないが、5%が最も広く使われる水準) で統計的に有意であるといえるギリギリの水準である。
- ・ ②と③、③と④の満足度平均点の差は、有意水準 5% で統計的に有意でない。ただし全く意味がない訳ではない。②と③、③と④の差が本当はなかったとなる確率 (有意確率) は、29%と 35%である。

- このような集計値の誤差は、回答データのばらつきの程度と標本の大きさ（回答者の数）で決まる。今回のアンケートの回答者は246名であったが、仮にそれが2倍になれば、誤差は $1/\sqrt{2}$ になる。分析の観点からは、もっと大きな標本サイズ及び回答者数が望ましいといえる。

図5-2は、同様の設問がある境港市のアンケート結果から描いたものである（筆者作成）。

- 満足度及び重要度の平均点が、どの機能についても、琴浦町よりやや高い水準にあるが、①～④の配置自体は似たものとなっている。

図5-2 満足度（縦軸）×重要度（横軸）－境港市（回答者全体）



注：機能①～④は琴浦町と同一（ただし「町」→「市」）

満足度×重要度の図における各項目の配置は、当然のことながら回答者の属性によって異なるものとなる。関心層（問6の①（関心が「ある」）+②「少しはある」）と無関心層（問6の④「あまりない」+⑤「ない」）について描いたのが図5-3、高評価層（問9の①（総合的に評価できると）「思う」）+②「少しは思う」）と低評価層（問9の④「あまり思わない」）について描いたのが図5-4、高関心かつ高評価の層（問6①②で問9①②）と高関心かつ低評価の層（問6①②で問9④）について描いたのが図5-5である。

図 5-3 満足度×重要度－関心層（左、問 6①②）と無関心層（右、問 6④⑤）

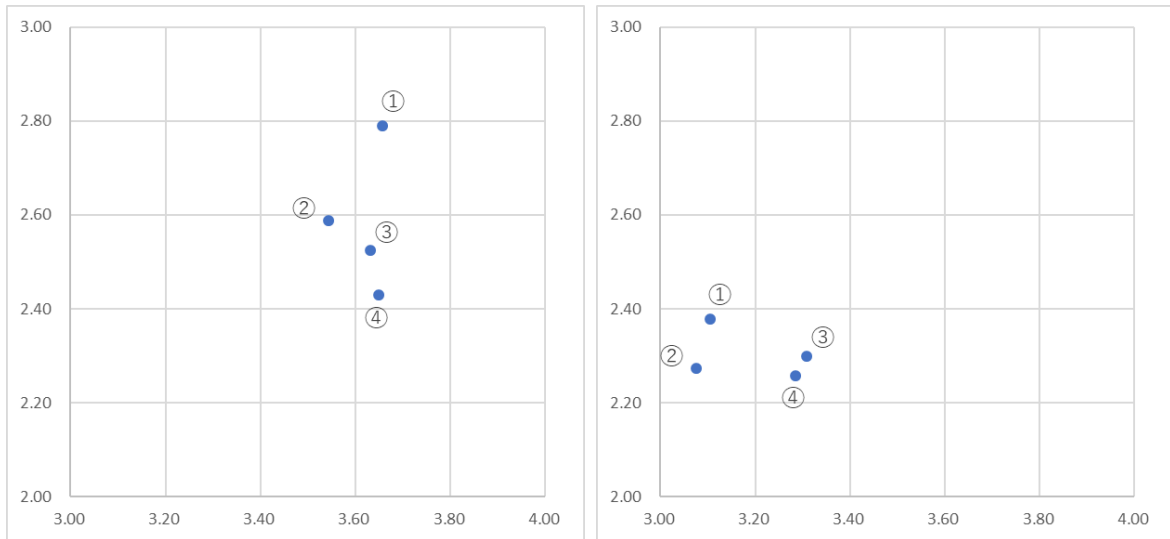


図 5-4 満足度×重要度－高評価層（左、問 9①②）と低評価層（右、問 9④）

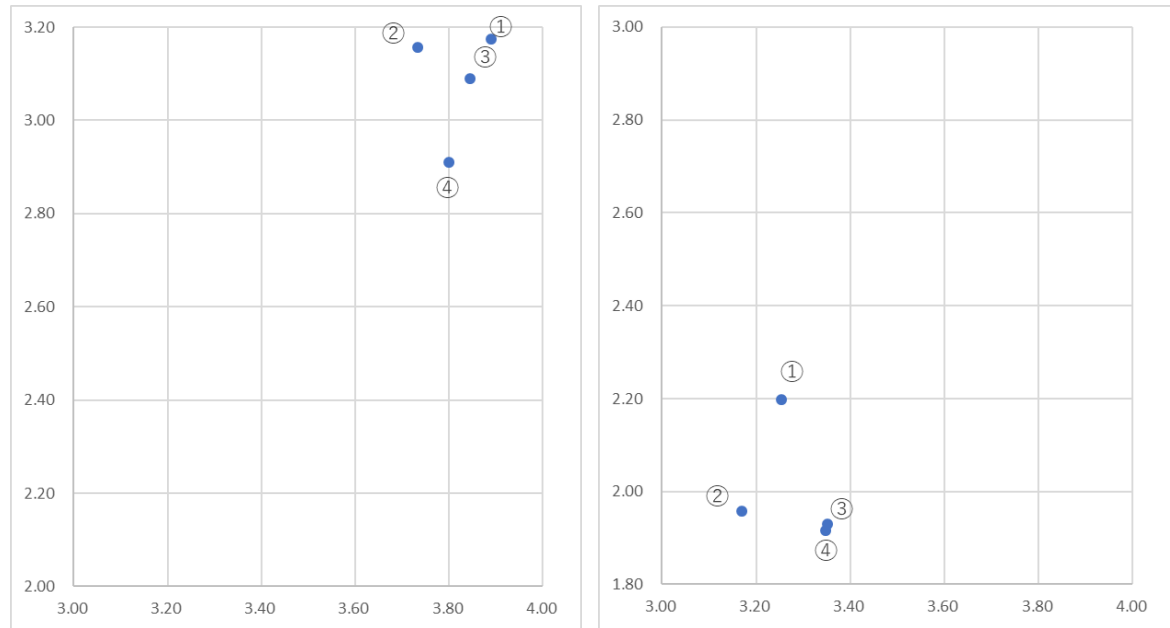
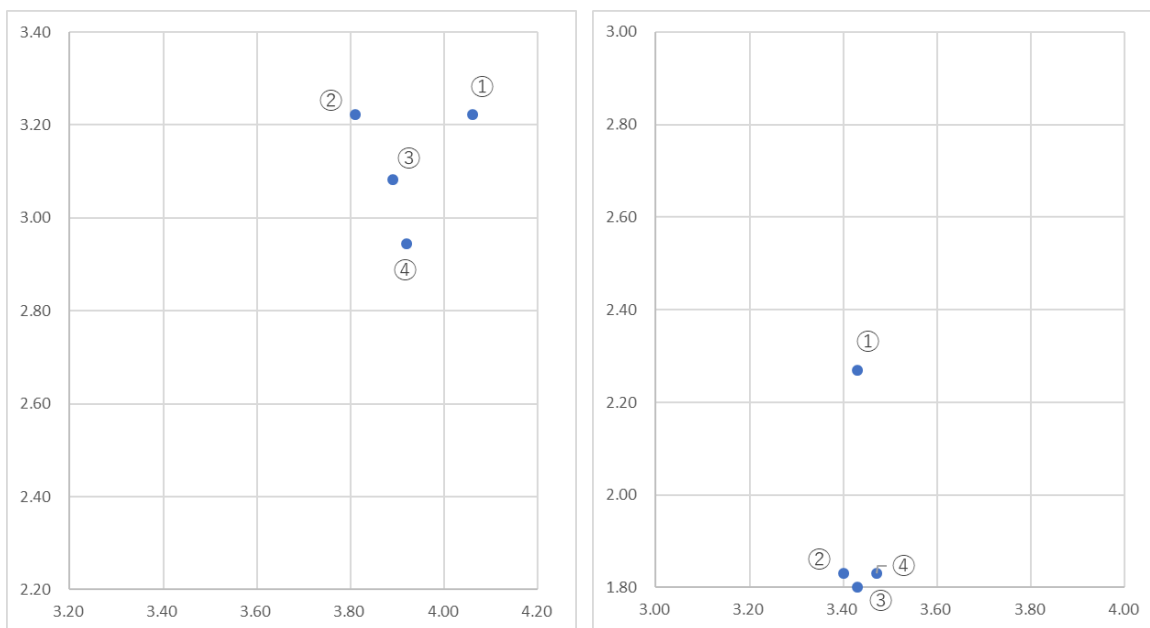


図 5-5 満足度×重要度

—高関心・高評価（左、問 6①②、問 9①②）と高関心・低評価（右、問 6①②、問 9④）



- ・ 図 5-3：関心層ではどの機能も重要度が高めで点差が小さくなる一方、各機能の満足度の点差は広がる。無関心層ではどの機能も重要度が下がり、またどの機能についても満足度が下がって点差が小さくなる。
- ・ 図 5-4：高評価層では、どの機能も満足度が高いほか、①②③と④の点差が大きい。また「どの項目も重要度が高くなる。
- ・ 図 5-5：高関心・高評価層では、機能①の重要度が高いのが目立つ。また高関心・低評価層では機能②③④の満足度の低さが目立っている。

(3) 議会に求める機能と総合的評価の関係

上の散布図においては、各項目の横方向の右に位置するほど、その項目の重要度が大きい、すなわち当該項目の満足度の高低が重要な意味をもつ（全体の満足に大きな影響を与える）と解される。

一方、今回のアンケートでは問 11 において「最も重要だと思う議会の機能」を尋ねている（4 つの機能からの選択）。この各項目の「最も重要だとされた割合」はもう一つの重要度の尺度となる。

この問 11 と問 9（総合的評価）のクロス集計を表 5-2 に示す。

表 5-2 最も重要な機能（問 11）と総合的評価（問 9）の関係

		問9. 町議会を総合的に評価できると思うか				
		1 思う 2 少しは思う 3 どちらとも言えない 4 あまり思わない				
		計	1	2	3	4
問11	①	47	3	15	18	10
	②	22	2	6	4	10
	③	118	2	10	72	34
	④	38	3	4	17	13
回答者全体		241	11	37	119	74

- ・項目①～④が選ばれた割合は③>①>④>②となり、問 10 の重要度の大小関係（図 5-1 の横軸方向の配置）と比べると、問①と④の差は小さいことから順序自体に大きな違いはないといえるが、問 11 では項目③が突出して多く選ばれている。すなわち、各項目について 5 段階評価を求められれば、どの項目も一定程度重要であるとの回答になるが、最も重要なものを尋ねられれば約半数が「町民意見の町政への反映」を選んでいる。
- ・この項目③を選択した層（約半数）は総合評価では低く評価する傾向があり、項目①を選択した層（2 割弱）は肯定的評価が比較的多い傾向がある。
- ・この結果は、満足度平均点の分布（項目①の満足度は相対的には他項目に差をつけて高く、図 5-1 でもやや群を抜いて上方にある）と整合的である。

（4）満足度と総合的評価の関係

総合的な評価は、文字通り様々な「部分」の満足度の総合を反映していると考えられる。今回のアンケートでも 4（1）で見た通り、総合的満足度と各項目の満足度との相関は明確である。

ここでは、各項目の満足度が、総合的評価にどれだけの影響を与えているかを、回帰係数の大きさ（横軸に各項目の満足度、縦軸に総合的評価の段階を取って、項目ごとに散布図を描いて直線をあてはめた場合（単回帰）の直線の傾きに相当）で測ることとする。

また、CS 調査でしばしば用いられる尺度である「ニーズ度」（「重要度－満足度」という式で計算、重要度が高く満足度が低いほど大きな値となる－満足度×重要度の散布図の右下方向にある度合い）についても同様の計算を行った。

これらの計算を、回答者全体と高関心層の 2 通りについて行った結果を表 5-3 に示す。

表 5-3 機能別の満足度及びニーズ度（重要度－満足度）の回帰係数

		回答者全体		高関心層	
		回帰係数	統計的有意性	回帰係数	統計的有意性
満足度	機能①	-0.347	1%有意	-0.466	1%有意
	機能②	-0.453	〃	-0.656	〃
	機能③	-0.368	〃	-0.529	〃
	機能④	-0.342	〃	-0.523	〃
ニーズ度	機能①	0.091	5%有意	0.105	－
	機能②	0.144	1%有意	0.227	1%有意
	機能③	0.110	〃	0.170	5%有意
	機能④	0.103	〃	0.139	〃

注 1. 数値は、満足度及びニーズ度を独立変数として、総合的評価の点数を説明する単回帰の係数である。

注 2. 満足度については、各機能の満足度が 1 高くなると、総合的評価がどれだけ高くなる傾向にあるかを示す（問 9 の総合的評価は選択肢番号が小さいほど高評価）。ニーズ度については、各機能のニーズ度が 1 大きくなると、総合的評価がどれだけ低くなる傾向にあるかを示す。

- ・ 議会の 4 機能のうち、総合評価に一番大きな影響を与えるのは、「②条例の制定・政策提言」の満足度で、重要とする回答が多い「③町民意見の町政への反映」のそれではない。高関心層では一層その傾向が強い。回答者（町民）の約半数が最重要とする「町民意見の町政への反映」について、（高関心層でも）必ずしも明確に満足度を評価できていない可能性（情報不足も一因か）がある。
- ・ 回帰係数の値は、例えば回答者全体では、機能②の満足度が 1 向上すると総合的評価が 0.45 段階だけ改善する傾向にあることを意味する。また、高関心層では、その効果は 0.66 段階になる。
- ・ 一方、ニーズ度については総合的評価に及ぼす影響は小さく、あまり明確でない。

6. 自由記述意見

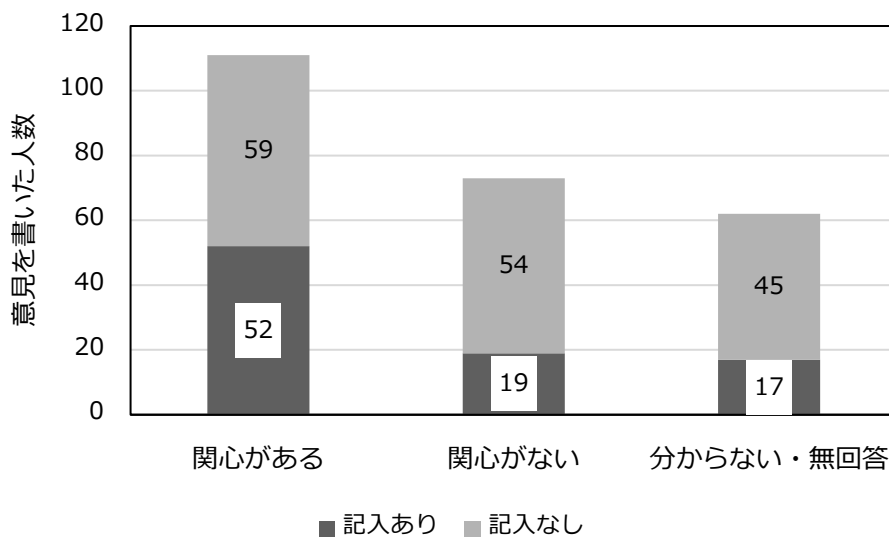
(1) 議会への関心に基づく自由記述意見の整理

アンケートの回答者 246 名のうち、88 名（36%）が問 17「議会（議員）や町に対してご意見をお書きください。」に回答した。まず、自由記述意見を「A. 議会（議員）に関する意見」と「B. 町政に関する意見」に分類した。A は 49 件、B は 39 件であった。さらに、A については、「議会に対する要望」、「議会に対する具体的な要望」、「議員の態度や議会運営に対する意見」、「その他」に分類した。B については、「町政に対する要望」、「町政に対する具体的な要望」、「その他」に分類した。ここで、具体的な要望とは、何をどうすればいいのかが行動レベルで判断できる意見とした。例えば「〇〇を設置してほしい」といった意見は具体的な要望とした。

次に、問 6「あなたは琴浦町議会に関心がありますか」の回答を 3 つに分類した。問 6 に、①ある、②少しはあると回答した人を「関心がある人」、④あまりない、⑤ないと回答した人を「関心がない人」、③どちらとも言えないと回答した人を「関心ははっきりしない人（分からない人）」とした。

議会に対する関心の程度と、自由記述意見の有無を図 6-1 に示す。関心がある人の方が関心がない人よりも意見を書いていることがわかる。

図 6-1 議会への関心の有無と自由意見の有無



自由記述意見を回答した 88 名について、議会に対する関心の程度と、意見の内容を分類した。結果を図 6-2 に示す。議会への要望や議員の態度・議会の運営については、議会に関心がある人が多く書いていることがわかる。町政への要望については、議会への関心がない人も多く意見を書いていることがわかる。

さらに、意見の量について、文字数を集計することで明らかにした。文字数を集計するさいには、句読点を除外した。結果を図 6-3 に示す。図 6-2（意見の件数）と比較すると、

件数については、町政に対する具体的な要望が最も多いが、分量（文字数）をみると、議員の態度や議会の運営について多く書かれていることがわかる。議会に関心がある人は、議員の態度や議会の運営について多くの意見を書いていることがわかる。なお、具体的な意見については巻末資料に示す。

図 6-2 議会への関心の有無と内容別の意見の数

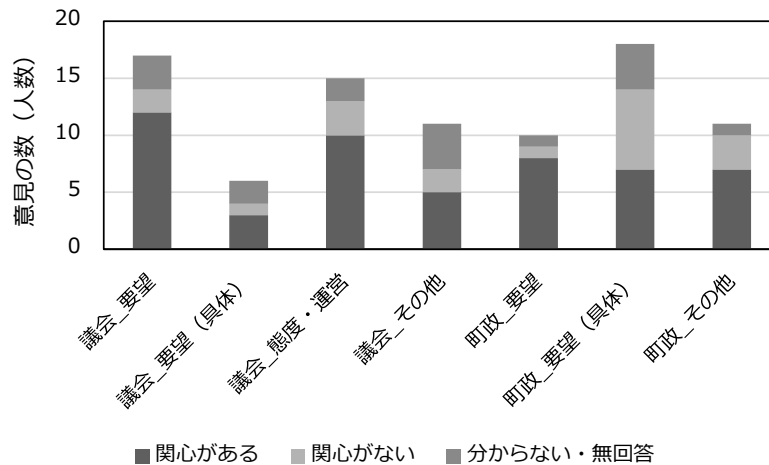
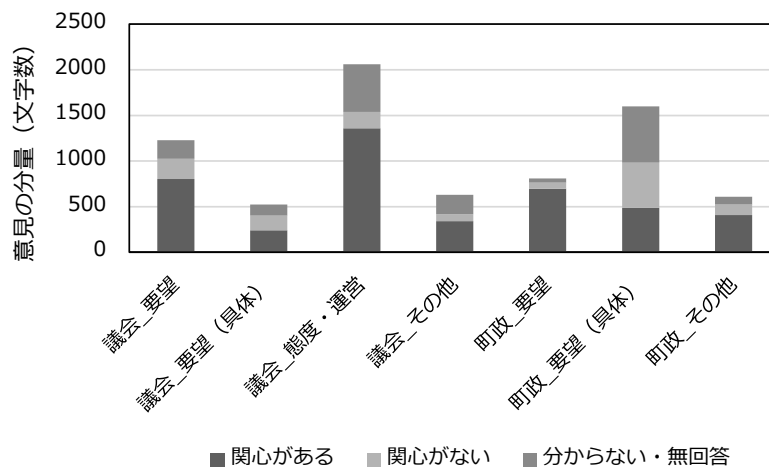


図 6-3 議会への関心の有無と内容別の意見の量（文字数）



議会（議員）に関する具体的な要望	
1.	地区（小学校区）単位など、議会から積極的に報告会か意見交換を行なうべきである。常任委員会は複数に所属するのは改めるべきと思う。
2.	1) 議員は、1年ごとに活動報告書を町民に公示するようにする。2) 報酬に見合った調査活動がされているか少し客観視でき、各議員に対し町民からも指摘や激励なども言える書類上での交流もできれば、もっと緊張感が生まれ、新たに町政を活性化する人が現れるのではないのでしょうか。
3.	議員さんが出てない地域・地区に足を運び見聞してほしい。困ることがあっても伝える手

議会（議員）に関する具体的な要望	
	段がわからない人もいます。（高齢者）
4.	学校のエアコンがやっとなつたようですが、時間がかかり過ぎだと思います。議会で話し合う内容を、一般にSNSなど個々の身近なツールを通して参加できるシステムがあれば、また賛否を問えば、関心を持つ町民が増えていくのは間違いないと思います。考える労力を分散すれば議員の仕事も楽になり、議員になってみようと思う意識を持つ方が出てくるのではと思います。
5.	夢のある琴浦町にするには、各議員の考えを具体的に示してほしい。又、年間活動の評価をしてほしい。その上で各年毎の取組みを示してほしい。
6.	議会の前にもっと町長と事前に議案の内容を話して議会を進めてほしい。議員のあらさがしはやめて、もっと琴浦町の行方を議論してほしい。

（２）議会の評価等に基づく議員定数に関する意見の整理

アンケートの回答者 246 名のうち、101 名（41%）が、問 12「議員定数が（多い、やや多い、適当、やや少ない、少ない）と考える理由」を回答した。

- ・ 定数が「多い」または「やや多い」と回答した人には、「人口減」を挙げる人や、「活動していない議員は不要」という意見があった。
- ・ 適当な議員定数については、各地区で 1 名（約 10 名程度）を挙げる人がいた（回答者数 8 名）。
- ・ 人口の観点からは、人口に対して「多い」という人も「適当」という人もいる。

また、問 6「議会への関心」、問 8「会議放送の視聴」、問 9「総合的な評価」ごとに意見を整理した。詳しくは巻末資料に示す。会議放送を視聴していて、かつ議会に関心がある人の意見を示す。意見は、定数が「多い」、「やや多い」の順に掲載している。

問 12 定数	議員定数について
多	活動、町民の為に働いているように思えない議員もいる。多いだけがよいのではない。本気で仕事をする方でよい。
多	議会中継、広報紙等を見ても議員をしてどのような活動をしているかよくわからない方がおられる。立候補者が少ないが、選挙がきちんと成立し、やる気実行力のある方が選挙によって選ばれ、少数であってもしっかり議員活動していただくのがよいと思う。
多	他市町と比べて、非常に多い。
多	予算の関係から
多	各地区 1 名、計 9 名でいいと思う。
多	地域の意見をどう聞いて、何を反映しているのかわからない
多	議会選挙直前、立候補者が定員に満たない状態があり、問題意識なく駆込立候補した議員が、他議員の質問代読ととれる、質問をしている。議員の資質に問題を感じてい

問 12 定数	議員定数について
	る。選挙得票数で、〇百票前後が当選している現状でその議員の活動は残念。〇千人に一人程度が妥当と考える。
多	1人の月額報酬が多すぎる中での議員人数は当然減らすべきであり、税金の無駄遣いがある。それほどの仕事をしているように思えない。
多	議員の質が良くない。
や多	他の町村にくらべてやや多い（人口割）
や多	人口が減っている。
や多	本当に町民のために（町のために）働いておられるのか？と感じる方もあるため。
や多	1～3人減らしても十分な活動ができると考えます。70÷10＝6日/月程度なので、もっと町民の声を聞けると考えます。
や多	地区公民館で各1名 人口濃度による加増
や多	選挙をしても定数にみたない（一人二人のオーバー）で、無投票にならないために立候補する等の話をきいたことがある。そんな事なら、本当に町のためにやる気のある人にだけ議員になってほしい。高い報酬を支払われるので議員が多いと税金のムダだと思えます。
や多	②人口の少ない町なので、議員数ももう少し少なくて良いと思えます（減らしても仕事量をこなせそうだと思うから）
や多	少数精悦議員に絞るべき
や多	15人以下の定数にしたらいいと思うが...
や多	何にもしゃべらん人がおる。
や多	境港市等と比較して
や多	人口が減っているのに少し多いのではないか？
や多	人口からするともう少し少なくていいと思う
適当	一人でも活動できる能力は限られているから。
適当	少なくなると、議論に町民の意思が反映されにくくなる。
—	定数16人の決定基準がわからない為多いか少ないかよくわからない。

（3）議会の評価等に基づく議員報酬（問 13）に関する意見の整理

アンケートの回答者 246 名のうち、71 名（29%）が、問 13「議員報酬が（多い、やや多い、適当、やや少ない、少ない）と考える理由」を回答した。

- ・ 報酬が「多い」または「やや多い」と回答した人には、「報酬に見合う活動を行っているのか」という意見が多い。
- ・ 議員の活動実態が分からないので、「報酬は多い」という人と「報酬を判断できない」という人が一定数いる。
- ・ 報酬が「少ない」または「やや少ない」と回答した人の中には、定数を少なくして報

酬を上げてはどうかという意見がある。

- ・ どの意見に関しても「議員の活動内容が分からない」という人が一定数いる。

また、問 6「議会への関心」、問 8「会議放送の視聴」、問 9「総合的な評価」ごとに意見を整理した。詳しくは巻末資料に示す。会議放送を視聴していて、かつ議会に関心がある人の意見を示す。意見は、報酬が「多い」、「やや多い」の順に掲載している。

問 13 報酬	議員報酬について
多	一般成人は 22～24 日/月働いており、224000 円は高すぎると考えます。
多	ふだん何をされているのか全くわからない。自分の仕事と掛けもちでされていると思うので、そんなに高い議員報酬は必要ないし、そこまでの能力のある方が議員をされているとも思えません。本当に議員としての仕事をされていますか？レベルでは？
多	70 日程度で 224000 円は、月 6 日間程度である。6 日で 224000 円は多い。活動は議員によって差があるためむずかしいと思う。活動が見えない議員がいるためやはり多いと思う。
多	ほとんどの議員が定年退職であり、年金+224000 円の報酬は考えられない。年金で暮らしている人の事を考えれば減らして当然。一般の人との差が大きい。議員自身、多少なりともボランティア精神があってもよいのでは。
や多	拘束される議会日は月平均にすると 6 日。自主活動の様子がほとんど見えない方もあり、多いのでは...と感じる。(やっておられると思うのですが...)
や多	一回の登庁 38400 円に値する議論をする人、しない人。副業的にしているような議員さんがいるのでは...？
や多	兼業議員と専門議員とわかれるので一概にはとらえられない。
や多	議員定数を減らせば適当だと思います
や多	国民年金受給者と同額、もしくは 1 回の登庁で $15000 \times 70 = 1050000$
や多	それに見合った成果は？
や多	議員さんでも色々な催し、会等に出席される人もあればほとんど顔を出されない人もある。もっと、顔を出された方がいいと思う。
適当	私が毎日働いて月額 10 万くらいしか収入がないことを思えば多く感じますが、議員の仕事は大変だと思うので。
適当	定数を減らしていくと、今までの月額でいいと思う。町民の税金で支払っているのです。
適当	比較する資料がわからない
適当	何か手当があるのか？
や少	民意を聞いてまわっているなどの話をあまり聞かない。調査活動等を行っているのか？
や少	報酬増やす
や少	定数の見直しにより定数を少なく出来るならば報酬を増額して良いと思う。
や少	各自の活動等はバラツキがある、また見えにくい。

問 13 報酬	議員報酬について
少	議員手当だけでも生活出来る様になったら好い
少	現在の報酬をそのままに、人数を減らして、議員報酬で生活ができる待遇にすべきである。そうすれば、もっと優秀な議員が出るはず。
少	議員が不勉強な現状が見える。政務活動を支給し、調査活動を積極的に促すべき。報酬が少ないと、自然。兼業や年金受給者が多くなり、民意を反映しにくくなっている。金銭的成功者の議員では、生活弱者の声が反映されていない。
少	議員報酬総額はそのままにして定数を減らし、月額を上げ活動がしやすい様にする。
—	金額が多いのか少ないのかわからず。

以上より、議会に関心がある層は、議員の態度や議会の運営について具体的な要望を持っていた。特に、会議放送を見たり、議会だよりを読んだりしたうえで、議会に対する意見を書いた人の中には、議員の姿勢について強く改善を求める声もあった。

議員定数や議員報酬については、議会に関心があり、かつ会議放送を視聴している層からも「議員活動の実態が見えない」という意見が見られた。実態が分からないために、町民が議員定数や報酬について適切な判断をできない状況であることも考えられる。

境港市議会（平成 31 年 1 月末から 3 月末にアンケートを実施）は、アンケートの結果を受けて、令和元年 8 月に「市議会への理解を深めていただくため Q&A 集」を公表している（表 6-1）。このように、まずは町議会の実態を町民に周知していることも重要であると考えられる。

表 6-1 境港市議会 Q&A 集の項目（境港市議会 HP より）

1. 今回のアンケート調査の目的は？
2. 議員定数を 16 名とした経緯は？
3. 議員報酬を今の金額とした経緯は？
4. 県内他市の議員報酬の状況は？
5. 議員年金はあるのか？
6. 政務活動費の使い方は？
7. 議員に交通費などの手当はあるのか？
8. 行政視察は何のために行うのか？
9. 議会活動の広報の現状は？
10. 無投票の時の選挙費用予算はどのように処理されるのか？
11. （参考）平成 30 年度定例会等開催実績

7. 議会改革にむけて－アンケート分析の総括と提言

(1) アンケートの回答と集計結果が持つ意味

このアンケートが行われたことの意義は大きい。一定数を受作為抽出して調査した結果を分析したことにより、町民と町議会の関係について様々なことが明らかになったといえる。

一方、例えば問 12（議員定数をどう思うか）や問 13（議員報酬の額をどう思うか）など議会への意見や評価に関する回答（全体の集計結果）をもって、町民の「民意」ととらえるべきではないであろう。議会改革において、本来参考にするべき「民意」は、いわゆる「輿論」（人々が考え議論した末にもつ意見の集合）であって「世論（せろん）」（集団的感情や世間の雰囲気）ではないはずだからである。

多くの地域で同様であると考えられるが、今回のアンケートによれば、琴浦町においても町議会に関心が「ある」は 11.8%、「少しはある」も 33.3%にとどまっている。議会だよりを読む頻度（「毎回読む」21%、「ときどき読む」38%）や、議会の傍聴経験（「ない」が 95%）、会議放送の視聴頻度（「各会期 1 回以上」6%、「年に数回」29%）が低調であることを見ても、一定程度の関心を持つ層は少数派であるといえてよい。

また、今回のアンケートの回収率は 24.6%と低く（ただし約 3 年前に首長部局によって実施された「町民の満足度に関するアンケート」の回収率も 29%にとどまっており、町政全般への関心も低いと考えられる）、回答者は回答しなかった層よりも関心の度合いが高い傾向にあるだろう。つまり現実の町民全体の関心は、今回の調査結果が示すよりも、さらに低いと考えなければならない。

以上のことから、今回の調査結果は全体として「輿論」というより「世論（せろん）」としての性格の方が色濃く出ており（他の地方議会によるアンケートの多くも同様であろう）、例えば問 12 や問 13 の単純集計結果をもって「町民の意見はこうである」「町民はこういう方向を望んでいる」と解釈するのは大変危険である。

しかし、今回の調査結果が議会改革の検討において参考にならない訳では決してない。そもそも関心の低さを確認したことも重要であり、町民の議会に関する意識や意見の構造が明らかになった（標本サイズが十分大きいとはいえないことの制約はある）。例えば、町民のどのような層の関心が高く、また低いのか。さらには関心の度合いと、町議会の現状に関する肯定的評価の程度や満足度、さらには定数や報酬額に関する意見との間の関係はどのようなものか。これらは、今後町議会がとるべき策を検討する上で、大いに参考になるはずである。また、関心が高く、広報紙や傍聴・視聴を通じて現状を知る層の考え方や意見にはとりわけ重要な意味があるだろう。

また自由記入欄に書き込まれた意見（町議会に関するもの）も貴重な情報である。回答者が任意に記入する欄であり、住民全体（回答者全体）の傾向等を直ちに読み取ることはできないが、典型的な意見として個別の記入内容や類似の意見の数には注目すべきである。関心や情報を有する層が書き込んだ具体的内容には特に注意を払うべきであり、また関心がないと回答した層でも、少なからぬ文字数の具体的記述がなされていれば、そこには何

らかの（しばしば批判的な）問題意識があるはずである。第6章及び巻末資料をご覧ください。

（２）今回の分析から明らかになったこと

今回のアンケート結果から判明したり、示唆が得られたりした重要な事柄について、あらためて列挙すれば、以下の通りである。

- ①議会への関心はあまり高くない。したがって議会の情報を得るための行動（広報紙を読む、中継を視聴する、傍聴する）も活発でない。比較対象とした他の議会も概ね同様である。（3 (1) (2) (3) ー問 6、問 4、問 7、問 8）
- ②議会への関心には、男女差（男性＞女性）、年代差（高齢者＞若年層）が見られる。（3 (4) ー問 1・問 2×問 4・問 6・問 8）
- ③関心が高い層は、議会の活動を知ることによって、評価が高評価と低評価に二極化する傾向がある。（5 (1) ー問 4・問 6・問 8×問 9）
- ④関心がある層からは、議員の態度や議会の運営について、具体的な要望が自由記述欄に述べられている。また、中継を視聴したり広報紙を読んだりした上で書かれた意見には、議員の姿勢について強く改善を求める声もあった。（6 (1) ー問 6・問 4・問 8×問 17）
- ⑤関心が低い層は、議会を低く評価する傾向がある。その背景には漠然とした思いや、あるいはステレオタイプな見方があるだろう。（5 (1) ー問 4・問 6・問 8×問 9）
- ⑥定数や報酬に関する意見や見解には、議会の現状に対する評価（総合的評価や各機能への満足度）が大きな影響を及ぼす。（4 (3) ー問 9・問 10×問 12・問 13）
- ⑦一方、関心の度合いと定数・報酬への意見の関係をみると、無関心層と関心に基づく行動（広報紙を読む、中継を視聴する）が積極的な層の双方において、定数・報酬を多いとする傾向がある。（3 (5) ー問 6・問 4・問 8×問 12・問 13）
- ⑧ただし、議会に関心があり、かつ会議放送を視聴している層からも、定数や報酬に関する自由記述欄に「議員活動の実態が見えない」という意見が見られた。多くの町民（回答者）は議員定数や報酬について確たる判断が難しい状況にあると考えられる。（6 (2) (3) ー問 6・問 8×問 12 理由欄・問 13 意見欄）
- ⑨町民が最も重要と考える議会の機能は、4項目のうち「町民意見の町政への反映」が半数を占める。この項目は重要度も高い一方、満足度は高くない。また「町民意見の町政への反映」を最重要とする層は総合評価も低くなっている。（5 (2) (3) ー問 11、問 10、問 11×問 9）
- ⑩議会の4機能のうち、総合評価に一番大きな影響を与えるのは、実は「条例の制定・政策提言」の満足度で、重要とする回答が多い「町民意見の町政への反映」のそれではない。高関心層では一層その傾向が強い。回答者（町民）の約半数が最重要とする「町民意見の町政への反映」について、（高関心層でも）必ずしも明確に満足度を評価できていない可能性（情報不足も一因か）がある。（5 (4) ー問 10×問 9、問 6×問 10×問 9）

(3) 提言

今日、議会改革という名の下で様々な議論がなされている。地域民主主義や住民自治を実現する、あるいは進化させるという意味での改革の必要性は多くの地方議会に共有され、様々な取り組みが行われてきたが、近年目立つのは行財政改革の観点からの議員定数や議員報酬の削減の動きである。その背景には人口減少・高齢化と連動して進む財政の逼迫とともに議会不信（無関心から議会不要論まで）があるとされるが、議会・議員が住民自治のための改革とは異なる（しばしば相容れない）減量型改革に率先して取り組むことへの批判もある。そのほか、人口減少や議会への関心低下は、各地で議員のなり手不足をもたらしており、無投票当選の増加も深刻なものとなるなか、なり手確保のための対策も求められている。

琴浦町議会においても同様の課題があるとすれば、今回のアンケートの分析から、次のような提言が導かれるだろう。

- ①どのような改革のためにも、第一に、町民の関心を高め、議会の役割や活動をより知ってもらい取り組みをすべきである。その際、(現状の) 会議放送を視聴する、(現状の) 議会便りを読むというだけでは、大きな期待はできないだろう。また、関心の男女差や年代差があることにも着目すべきである。
- ②現状では議会活動について知ること、評価が二極化する傾向があることにも留意が必要だろう。関心をもち議会活動の情報に触れることによって、根拠の曖昧な否定的意見は減ることが期待できるが、一方で(現状の) 議会・議員活動を知ること、批判的見解や否定的意見をもつようになる町民も少なくないだろう。議会と住民の関係を改善するためには、議会運営や議員活動自体の改革も必要であると考えられる。
- ③議員定数や議員報酬については、より多くの町民に、より深い関心と知識をもってもらった段階で、すなわち輿論が形成された段階で、あらためて民意を問うのが望ましい。オーソドックスな意識調査を再度行うこと、可能であれば無作為抽出した町民に参加してもらい討議型世論調査を行うのもよいだろう。
- ④定数・報酬の減量改革を検討するとしても、それほど急ぐ必要はないのではないかと考えられる。やはり拙速を避け、あらためて民意を問い、それを踏まえた本質的な議論（議会・議員の機能維持・強化に必要な定数・報酬の確認も必要だろう）が求められるのではないかと考える。
- ⑤仮に、努力や工夫にも関わらず、町民の議会への関心が高まらない、あるいは肯定的評価に繋がらない結果となっても、それも1つの重要な結果であり、決して無駄ではないと考える。

＜巻末資料＞

自由記述回答（問 17・問 12・問 13）

1. 議会への関心の有無（問 6）に基づく自由記述意見（問 17）の整理

まず、自由記述意見を「A. 議会（議員）に関する意見」と「B. 町政に関する意見」に分類した。次に、A については、「関心がある人」と「関心がない人」と「関心があはつきりしない人」に分けて、意見を整理した。さらに、「議員の態度や議会運営に対して改善を求め意見」を分け、「議会だよりを読んでいるか」などを確認した。

各意見は、次の 3 つに分類した。

【要望】「～してほしい。」といった記述があるが、内容が具体的でないもの。

【要望（具体）】「～してほしい。」といった記述があり、内容が具体的なもの。例えば具体的な組織名や手段を挙げているもの。

【その他】要望や提案以外のもの。

A. 議会（議員）に関すること

○関心がある人の意見（「ある」「ややある」と回答した人）

- ・ 【要望】議員の方それぞれが町民の意見をもとに課題を設定し、その事に必要な条例、政策提言を行って頂き、町民の意見やなやみが反映されるような活動を行って頂きたい。あたり前の事かもしれませんが
- ・ 【要望】行政と議会でわが町の未来に向かって明るい希望が持てるよう（若い人に）精進していただいたい。議員に立候補する若い女性がいればかなり雰囲気も変わるはず。”捨てたもんじゃないぞ琴浦町”。再来年関西から地元へ帰ってくる息子に誇れるような町づくりしていきたいと思っています。
- ・ 【要望】各議員の活動が不明な点が多い。各議員は自分の活動を町民に説明・公開をして進められたい。
- ・ 【要望】もっと幅広く意見を聞いて欲しい。
- ・ 【要望】町に意見を一致させ前向きに行動して…。
- ・ 【要望】いろんな会に参加してどんな行事をおこなっているのか肌で感じてほしい。琴浦町がますます良い町、魅力のある町になるようがんばってほしい。
- ・ 【要望】定数削減し、その分、報酬を増減。報酬に見合った議員活動に期待する。極論すれば、市議と同等もよい。それなりの資質能力を備えた町議ならば。
- ・ 【要望】町長並びに町職員（幹部）にもっと鋭く追求すべき。「考えておく」とかの答弁にごまかさず、徹底的に改善追求すべき。
- ・ 【要望】・地域に密着して情勢を把握して正しく要望をまとめて町政に反映して頂きたいと思います。・議員さんが人間的に輝いて自分らしく活動して頂きたいと思います。

A. 議会（議員）に関すること

- ・【要望】議員報酬に見合う議員の活動をして下さい。もっと町政や行政に対してチェック機能を発掘して下さい。
- ・【要望】町民の思いを受けて当選されたはずです。1回1回、1日1日を大切に活動してほしいと思います。立候補者が少ないのは、魅力を感じないからだと思います。魅力ある議員、1人1人であってほしいと思います。
- ・【要望】もっと若い人材を選出するためにも議員報酬によって生計を立てられるようにすべき。町の将来を考えれば、その仕事を出来る人に頑張ってもらいたい。その分議員定数を減らすべきである。議員の皆さんは、現状の町政をどのように思われますか？ 人の揚げ足を取るような「はずかしい」ことをやめましょう。
- ・【要望（具体）】地区（小学校区）単位など、議会から積極的に報告会か意見交換を行なうべきである。常任委員会は複数に所属するのは改めるべきと思う。
- ・【要望（具体）】1) 議員は、1年ごとに活動報告書を町民に公示するようにする。2) 報酬に見合った調査活動がされているか少し客観視でき、各議員に対し町民からも指摘や激励などと言える書類上での交流もできれば、もっと緊張感が生まれ、新たに町政を活性化する人が現れるのではないだろうか。
- ・【要望（具体）】議員さんが出てない地域・地区に足を運び見聞してほしい。困ることがあっても伝える手段がわからない人もいます。（高齢者）
- ・【その他】TCC放送が議会の様子を伝えて人間性がよくわかる
- ・【その他】3～4年前に公民館で議員4～5名出席されて懇談会がありました。その時企業誘致の話の切り出したらその件は皆さんで考えて下さいとの事でした。私はそれ以上言葉が出ませんでした。
- ・【その他】大切な議案の採決が半々になり議長で決まること自体に不思議な思い。片寄った議案なら1部の主義主張の違う議員の反対があっても当然だが、一般的な町の提出議案がなぜ半々になるのだろうか...？町の提案自体がお粗末なのだろうか？
- ・【その他】問11で、最も重要だと思うものを選ぶ意味がわかりません。状況に応じて、重要なことは変わるのではないですか。議員定数の見直しを行ってください。（削減）
- ・【その他】最近の議会は、以前に比べてチェック機能がとても働いていいと思う。（特に、同和行政、不透明な部落解放同盟の補助金、文化センター館長報酬等）

【議員の態度や議会運営に対して改善を求める意見】

1. 現在の議会中の様子を見ると建設的な雰囲気が無い。町長と議員の対決や批判を延々と続けたり、議事を中断したりと傍聴する町民としては、ばからしくなる。【会議放送を年に数回視聴している】
2. 一般質問しない議員は失格。過去全く質問せず夜のつきあいで根回しするような風潮があった。質疑をとおして広く討論が公開されなければいけない。【会議放送を各会期1回以上視聴している】
3. 町に対しての議会の果たす役割ができていない。なぜならば、どうしても良いことを攻撃的に取り組んでいる議会議員に不満だから。議員同志の攻撃はやめるべきだ。もっと建設的な意見を。一人の議員の不平・不満をあたかも町民が望んでいるかのような錯覚はやめて欲しい。【会議放送を各会期1回以上視聴している】
4. 町報の時期に、A議員が発行されているお便り（名前を忘れました）は読んでいて不快に感じます。よく個人対上伊勢部落又は琴浦町の事が書かれていましたが、私たちも当時の出来事をいくつか耳にしたことがあります。しかし、実際の事柄とは違うことだったり、上伊勢部落を悪くいう内容だったりして、なぜそうになってしまうんだろうと悲しく思うことが多々ありました。自分たちには何もできず、発言できる立場にあるA議員が、紙面を通し様々なことを非難されており、どこまで本当なんだろうと不信感と、恐怖を感じました。その他の内容も、どう受け入れるべきか判断できないことが多いです。私自身、議員のことをよく把握しておらず失礼かもしれませんが、以前から感じていたことを、他に伝える機会もないので書かせてもらいました。【会議放送は視聴していないが、

A. 議会（議員）に関すること

議会だよりを時々読んでいます】

5. TCCで議会の放送をみますが、くだらない質問やどこからそんな要望が出ているの？と思うようなしょうもない提言をされている議員が多い。言葉を選んで答えている町長さんや担当課長さんに同情するレベル。もっと町民の生活の実態を見て、本当の意味で町民のためになる町政をお願いしたい。税金も上がり、介護・子育て、将来の不安いっぱい日々生活している庶民の事を考えて下さい！！【会議放送を年に数回視聴している】
6. どう活動し、何を成果とされているのか。町民の代表であるのなら町民が何に困っているのか、どう思っているのか、たくさんの声を地域の中から聞き出す努力をしてほしい。今は、それを全く感じない。【会議放送を年に数回視聴している】
7. 同和地区在住の議員の発言に乗り、議会内で同和行政無用の発言が相次いでいる。内容に誤りや思い込み等で現実と異なる部分が多くある。問題にするなら、現地に入るなり、勉強をするべき。〇〇議員の発言は地域住民を『だまし討ち』にした行為であり、地区住民の利益上に立っていない。同和行政に対する批判は以前よりあったが、そういった一部町民に迎合し、差別意識を煽りながら議会内外で活動する議員が多数いることは残念。この手法はポピュリズムであり、差別性にあふれるレイシズムである。青亀議員の折込みや議会発言による繰り返りで、いろいろな差別に対する問題意識のハードルが下がってきているよう感じる。このことが、生活弱者に対する役場内の若い職員に反映していると感じる。【会議放送を各会期1回以上視聴している】
8. もめるだけで議会の調整能力がないように思われる。「反対」だけ言っているように感じる。政策提言など、議員からの発信能力が必要で、町の発展に自ら汗を流す姿勢が見られない気がします。【会議放送を年に1回程度視聴している】
9. 町民の為の議会活動を行なって頂きたい。議員間の足の引っ張りあいの様に見える。【会議放送を年に数回視聴している】
10. 町民に目を向けて活動してほしい。議員さんの中で足の引っ張り合いが目につく。選挙前の下がかりな態度はどこへ行ってしまったのでしょうか。健康寿命を延ばす取組はすばらしいと思います。寝たきりにならないで暮らしたいと思っています。【会議放送を各会期1回以上視聴している】

○関心がない人の意見（「あまりない」「ない」と回答した人）

- ・【要望】町政に対しての専門家は、兼業の町会議員ではなく町役場の職員であり、各課、各係の町職員が各部署の役割を全うするだけでなく、町全体が向上するアイデア、考え、提議し、討議し、実行していただきたい。（バカな町議を言いくるめる力を持つ。）
- ・【要望】質問数は結構あって町長等がそれなりに答えておられるがその中で実現された事は何個位なのか、検討するという内容もあるが。議員の方には決定権のある事もあるのでしょうか。ちょっと良くわかってないですけど、どうかかなと思った事を書いてみました。すみません。
- ・【要望（具体）】学校のエアコンがやっとなつたようですが、時間がかかり過ぎだと思います。議会で話し合う内容を、一般にSNSなど個々の身近なツールを通して参加できるシステムがあれば、また賛否を問えば、関心を持つ町民が増えていくのは間違いないと思います。考える労力を分散すれば議員の仕事も楽になり、議員になってみようと思う意識を持つ方が出てくるのではと思います。
- ・【その他】町村単位で議員が居て議会があるというのはむだである。県議会だけで良い。
- ・【その他】日々の業務お疲れ様です。琴浦町が誰にとっても住みやすくよい町になるよう期待しています。

【議員の態度や議会運営に対して改善を求める意見】

1. 何でも税金をかけて農業者、会社員がどれほど苦勞しているか、エアコンの効いた議会がだいじですか。選挙の時だけ頭を下げていれば良いのか。議員、町・県・国会議員は、ボランティアでしかない。【議会の傍聴・会議放送の視聴なし。議会だよりはときどき読む。】
2. 個々の政策と結果以上に、最近派閥？の関係なのか不協和音的な問題の方が議会のイメージにあり、あまり議員への信頼感はないです。【議会の傍聴・会議放送の視聴なし。議会だよりを読んだ

A. 議会（議員）に関すること

こともない。】

3. 議員の意見が少ない。議会に活気がない。議員と町長の一對一の質疑応答をしてほしい。【会議放送を各会期1回以上視聴している】

○関心がはっきりしない人の意見（「どちらとも言えない」と回答した人、無回答）

- ・ 【要望】 もっと町の事を議員の中で話し合ってほしい。農林業にしても、若い人達が増えるように琴浦町の農業をもっとよくしてほしい。※梨の生産者が高齢化してきているので若い人が（若い生産者）が面積増やすためにも、自己負担額が減るよう、補助率、補助額を上げてほしい。
- ・ 【要望】 もっと琴浦町を発展させようと思う人達に議員になってほしい。
- ・ 【要望】 町民が地域を元気にするように頑張っている活動を議員自らの目で確かめ、応援してほしい。高いアンテナで町民の生活を見てほしい。
- ・ 【要望（具体）】 夢のある琴浦町にするには、各議員の考えを具体的に示してほしい。又、年間活動の評価をしてほしい。その上で各年毎の取組みを示してほしい。
- ・ 【要望（具体）】 議会の前にもっと町長と事前に議案の内容を話して議会を進めてほしい。議員のあらさがしはやめて、もっと琴浦町の行方を議論してほしい。
- ・ 【その他】 住みよい町づくりを目ざして議員さんがおられると思います。これからの活動に期待したいと思います。
- ・ 【その他】 「ことうら議会だより」いつの頃からか、読みだしました。町政のことがよくわかり、議員の質問に対する町の答えを読んで安心したり、なんでや、と思ったりしてます。議員さんが町民の代表ということがわかります。日々努力して下さっていると感謝します。
- ・ 【その他】 新聞広告に時々入っている共産党の議員さんののが、一番身近でわかりやすい。
- ・ 【その他】 町民のために使命感を持って頑張って頂ければと思います。

【議員の態度や議会運営に対して改善を求める意見】

1. 琴浦町の発展のために前向きな議論をしていただきたいです。批判や町長との対立ばかりが目につきます。新しい挑戦や斬新な意見を頭ごなしに否定しないでいただきたい。【議会だよりを毎回読む。会議放送を年に数回視聴する。】
2. 子供の言い合いにしか見えない。毎回同じ事。1つの事案を目のかたきにしてそれしか議論していない。新しい事案がないのか？それだけ琴浦町は平和なのか？議員さんは、陰で悪口しか言えないのか？もっともっと若い力を入れるべきだ。田舎の高齢議会は、町は発展していないのが、わからないのか？こういった、町民の声が議会に出るのか不安、結局ムダにしてない？各自の議員活動を毎月の議会だよりに出しては？「224000円」決めるのは町民ではないのか？本当にこれでいいのか？琴浦町！！「明るい琴浦」を広告と一緒に出されている議員さんへ...。「明るい」？？何が明るいのか？いつも上伊勢・下伊勢地区と町長パッシングこればかり。他に考える事は無いのか？各自の活動で月額224000円は出しすぎじゃないかな？上伊勢・下伊勢地区の人たちからも税金もらっているのに...この地区の人おこってるんじゃない？この地区の方々の意見を聞いているのか？「明るい琴浦」改め「文句を言いたい」とか「年寄りの一人言」とかに変えては？ちっとも「明るく」ないですよ。【議会の傍聴・会議放送の視聴なし。議会だよりは毎回読む。】

【要望】「～してほしい。」といった記述があるが、内容が具体的でないもの

【要望（具体）】「～してほしい。」といった記述があり、内容が具体的なもの

【その他】要望や提案以外のもの。

B. 町政に関すること

- ・ 【要望】・若い人が町に残る方法を考えてほしい。・不登校や引きこもり支援を考えてほしい。
- ・ 【要望】税金を納めていない町民を何とかすべきだ！
- ・ 【要望】町民の不安を取り除き住みよい町になる事を希望する
- ・ 【要望】さほど充実した行政サービスがないのに住民税が高いのではないかと。企業誘致を積極的にし、雇用創出、住民増に取り組んでほしいです。松江市、鳥取市の中間値である利点を活かし、山陰両県の拠点地として、両県協定交流の際は琴浦が利用される等、両県をつないで世界へアピールするような役割を担っていく町になってほしいです。
- ・ 【要望】これからの町を支えていくのは、若者だと思う。若者が町やどういう風になったら暮らしが豊かになるか、など考える機会が必要だと感じる。若者の意見を聞いて頂いたり、開かれた議会、誰にでも分かりやすい議会に近づいていけると良いと思う。
- ・ 【要望】少子高齢化が進むなか、子育て支援のさらなる充実。琴浦町で子育てしてよかった、こんなメリットがあるというのを、もっと打ち出さないと、高齢化が進む一方です。
- ・ 【要望】今さらですが、カウベルホールは価値があったのでしょうか？まなびタウンとか。畜産の町なので水質に影響しないか疑問。町内企業が倉吉市などに移転しないよう、倉吉市に負けない強い町になれるよう、よろしくお願いします。
- ・ 【要望】町民が生活し易い、魅力がある琴浦町になって欲しいと思います。笑顔で暮らせる日々でありますように。
- ・ 【要望】人口減が進めば小中学校の合併、さらには市・町合併も視野に入れなければならないと思う。その時に琴浦町がイニシアチブを取る位の体力があってほしい。
- ・ 【要望（具体）】・同和对策事業の見直し・国保税が高過ぎ・デイサービスを受けている人で畑仕事をバッチリしてスーパーへ暑い日も歩いていくのにデイサービスに車の送迎で行くのはおかしい！・国道 9 号に融雪剤をまきすぎ！・赤碕の建設業を優遇しすぎ！・白鳳祭（東伯）の見直しを考えておられるそうですが、そもそも赤碕の波止の祭は神事です！主旨が違う！町内外から多数集まるイベントを町をあげて続けるべき！（町駅伝も同じです）歴史を大切に！
- ・ 【要望（具体）】町職員の人事がわかるようにしてもらいたい。同和教育部落懇談会の廃止。
- ・ 【要望（具体）】町が運営する温泉プールが欲しい。
- ・ 【要望（具体）】・外国人の自転車運転マナーがとても悪いのでなんとかしてほしい。・全体的にせまい道路が多い。ミラーも少ない。・小学校で全体的に一学年の人数が少ないので、一つに統一してはどうか？
- ・ 【要望（具体）】・住民税が高すぎて困っています。・小松町長のワンマンなやり方に不信感を抱きまです。・役場の窓口対応が悪いときが多々あります。（用事以外は行きたくないです）
- ・ 【要望（具体）】議会のこととは関係ないですが、よく「詳しくは町のホームページでご確認ください。」と言われますが、ホームページを見てもその情報が載っていないことがあるので改善してほしい。
- ・ 【要望（具体）】近年町長さんが提案される施策が民意に合っているのかな...税金の適切な使い方のかな...と思うことがあります。議員の皆さんには、民意を汲み取っていただき、町政への適切な提案審議を行っていただけたらと思います。私見ですが、熱中小学校の成果は？教育委員会の本庁移転の話があると聞きましたが、止めていただきたいです。
- ・ 【要望（具体）】昨年の台風 19 号の災害復旧については業者がいない資材が足りない等で復旧がおくれている。なるべく今年度中には復旧を望みます。

B. 町政に関すること

- ・【要望（具体）】議会というより町に対し、条例改正や施行などは町のルールが変わる事なのに県の公報のような情報提供がないのにまったく理解出来ない。何の為に条例を作ったり変えたりするのですか？町民ファーストの意識が低すぎると思います。
- ・【要望（具体）】小学校の新1年生の名前や顔写真、クラスなどを載せるのは個人情報なので止めていただきたい。
- ・【要望（具体）】高齢者に優しい社会は逆に若い人たちへの負担が増えているということも考えてほしいです。街灯を増やして道路を明るくしたり、雪（大雪）の際の登下校経路の確保、保育園（こども園）の保育士への待遇をよくしてほしいです。
- ・【要望（具体）】少し気になっているのが、旧9号線の民家が少ないところは、街灯がないところがあり、17:30くらいになると冬は本当に真暗で、高校生の娘はそこを歩いて帰ったり、自転車などで通ったりするので心配です（他の道通ってとは言っているのですが...）。あと、夏の白鳳祭はなくなってしまうのでしょうか？それとも、町が管理するのではなく、自治会のほうが管理運営となるのでしょうか？いろいろ経費の面での関係でしょうが、夏の海の催し物も、公民館の方でという感じで、縮小され淋しくなりましたね。経費削減はわかります。しかし、税金を納めている町民の楽しみを削減するのはどうかと思います。もっと他に削減できるところはないのでしょうか？あと、琴浦町役場の方は来場者に対して、笑顔であいさつすることされてません。支払いや書類提出とかで役場に入りますが、来てよかったなと思うことがないです。改善してほしいなあと思います。
- ・【要望（具体）】田舎にも、Wi-Fi など充実させてほしいです。緊急時の携帯での連絡が出来なかったことがあり困りました。
- ・【要望（具体）】きり町に住居がありますが、赤碕駅から住居地までの道路整備が不十分と思われまます。街路樹が伐採され、アスファルトになってます。街灯もありません。当初住宅地を作成したときのコンセプトはどうだったのでしょうか。これだけ住民が多くなっているのに、避難場所はどこになりますか。町民の立場に立ってください。
- ・【要望（具体）】琴浦町の特産物（芝 etc）を全面に出した施設を作り、観光客だけで無く、多くの催しや大会を誘致してみてもは？
- ・【要望（具体）】健康ポイントラリーの廃止（体育館を無料にしてもらいたい）
- ・【要望（具体）】議会とは関係ないですが、朝の6:20の放送やめていただきたいです。週一回しか休みがない人もいますので、土曜・日曜も、その時間に放送されるのは、迷惑です。もう少し遅い時間にすとか、対策していただきたいです。
- ・【要望（具体）】道路沿いのブロック塀が、倒れそうな物が多数見受けられる。私物とは言え、公共の場所に面した場所は、行政の方で撤去するように指導して頂きたい。地震で倒れた場合、車が通行出来なくなる。
- ・【要望（具体）】今の町長は自分のしたい事をして自己満足している。町民はもっと身近な事をしてもらいたい。特に熱中小学校などはやめるべきだ。
- ・【その他】自分の地位や名誉のために議会があるわけではないので、若者が住みやすいような町作りをしてほしいと思う。琴浦には優良企業がたくさんあるので、若者が生活できるお給料をもらえれば県外へ出ないと思う。
- ・【その他】町長の答弁があやふやで気がせれる。もっと真剣に勉強し調査して答弁に向かってほしい。町民のことを軽く見ているように見える。議員の方は町政に対して活気のある質問、良い方向だと感心しています。もっともっと頑張してほしいです。
- ・【その他】これからは、もう少し「議会だより」を見て関心を持つようにしたい。身近な生活のことについて関わりがあるのにと反省しました。
- ・【その他】町民に対する思いやりがない。
- ・【その他】議会の方にも言いたいのが役場の職員が多すぎる。又数年すれば異動が有る為最後の数年になると我々の声が届いていないのが面白い。

B. 町政に関すること

- ・ 【その他】これと言ったものがない、言い方が悪いかもしれませんが魅力がない。
- ・ 【その他】少子高齢化で町民が減少して行きます。増やしたいです。又空き家もあります。どうすればいいんでしょう。私の周りの出来事です。
- ・ 【その他】町からのお年寄への補助はとても大切だと思います。それを頼りにしておられる方も多いと思います。その上でそれぞれの方の自立を促す（考え方も含めて）支援の方法が広がるとよいと思います。
- ・ 【その他】町民が目を見てくれるよう、集会・声かけ等必要になる... ということ？ 策、具体的なこととは難しいです。
- ・ 【その他】町の高齢化、議員も高齢化、長生き・長寿の町でも、いずれ衰退すると思うと寂しい町だなあと感じる。町にも魅力を感じない。
- ・ 【その他】中部は特に給料の基本がわるい。

2. 議会の評価（問9）等に基づく議員定数（問12）に関する意見の整理

まとめ

- ・ 定数が「多い」または「やや多い」と回答した人には、「人口減」を挙げる人や、「活動していない議員は不要」という意見があった。
- ・ 適当な議員定数については、各地区で1名（約10名程度）を挙げる人がいた（回答者数8名）。
- ・ 人口の観点からは、人口に対して「多い」という人も「適当」という人もいる。

凡例

質問	記号
【問6】議会に関心があるか	◎：ある、○：少しはある、？：どちらとも言えない、△：あまりない、×：ない
【問8】会議放送の視聴をしたことがあるか	◎：各会期1回以上、○：年に数回、△：年に1回、×：ない
【問9】総合的に評価できると思うか	◎：思う、○：少しは思う、？：どちらとも言えない、×あまり思わない

意見は、定数が「多い」、「やや多い」の順に掲載している。会議放送を視聴していて、かつ議会に関心がある人の意見を強調した。

問6 関心	問8 視聴	問9 評価	問12 定数	議員定数について
◎	◎	◎	多	活動、町民の為に働いているように思えない議員もいる。多いだけがよいのではない。本気で仕事をする方でよい。
○	△	○	多	人口から考えてさらに人数を減らすべき。倉吉市でも18人と考えるとなおさら。

問 6 関心	問 8 視聴	問 9 評価	問 12 定数	議員定数について
○	×	○	多	人件費の費用対効果
○	○	○	多	議会中継、広報紙等を見ても議員をしてどのような活動をしているかよくわからない方がおられる。立候補者が少ないが、選挙がきちんと成立し、やる気実行力のある方が選挙によって選ばれ、少数であってもしっかり議員活動していただくのがよいと思う。
×	×	○	多	議員に慣れた方々も大事ではありますが、新しい方々にも議員になっていただき、自由に別の目で運営してもらいたい。大きく入れ替わって定数を減らせば税金も減ります。
○	○	○	多	他市町と比べて、非常に多い。
△	×	?	多	そんなに人数いらなと思う
△	×	?	多	全員がたいした議論をしているように思えない。もう少し人数を減らして集中してもらえた方がいいのでは。
?	×	?	多	高年齢の議員さんは、年寄りの愚痴のように聞こえる。時代は変わっている。30～50代の議員なら少ないと思うが70代の議員で議会をするなら多すぎる。年寄り、若い人の意見を聞かない傾向あり。自分の思いを主張しすぎ。
○	×	?	多	琴浦町の人口に対して議員数が多いと思う。議員ってはっきり言って何をやっているのかわからない。
○	△	?	多	人口に対して 立候補者に対して
○	△	?	多	町の人口等を考えると、多過ぎると思う。
◎	◎	?	多	予算の関係から
◎	○	×	多	各地区1名、計9名でいいと思う。
×	×	×	多	10人以上になると意見がまとまらない気がする。
?	○	×	多	選挙になるかならないかのギリギリの状態。選挙活動をしなくても当選している人がいる
△	×	×	多	税金のむだつかい。他に使用した方がよい
○	○	×	多	地域の意見をどう聞いて、何を反映しているのかわからない
○	◎	×	多	議会選挙直前、立候補者が定員に満たない状態があり、問題意識なく駆込立候補した議員が、他議員の質問代読ととれる、質問をしている。議員の資質に問題を感じている。選挙得票数で、○百票前後が当選している現状でその議員の活動は残念。○千人に一人程度が妥当と考える。
△	×	×	多	少子高齢化の現状を考えれば10人位で良いのでは。
◎	○	×	多	各校区(旧)1名で十分だと思う
△	×	×	多	だれがなにをしているかまったく目に見えなくわからない。
?	○	×	多	他町の定数はもっと少ない。こんなにいらない。
×	△	×	多	議員の高齢化で活気がない。少人数で活発な元気な意見討論を希望する。
○	△	×	多	議会に専念できるように給与を上げ、人数は少なくして、少数精鋭にする。今の議員を見ていると新たな人材が入れる制度変更が必要。
△	×	×	多	小学校区×○名=10名が適正な、定員だと思う。

問 6 関心	問 8 視聴	問 9 評価	問 12 定数	議員定数について
—	○	×	多	各議員ごとに町民の課題を分担して専門的にすれば16人の人員も必要ないと思います。
△	○	×	多	新しい発想が無い、国会のものまね 無駄な反対意見←最悪の議員
◎	◎	×	多	1人の月額報酬が多すぎる中での議員人数は当然減らすべきであり、税金の無駄遣いがある。それほどの仕事をしているように思えない。
△	×	×	多	議員皆がちゃんと仕事しておられるのか。誰が何をされたのかよくわからない。
○	◎	×	多	議員の質が良くない。
△	◎	×	多	なれあいの為、若い人が出てほしい。
◎	○	×	多	定数を10名位にして週の半分位は議会事務局に出勤して町政のチェックをしてもらいたい。
◎	×	×	多	境港市と比べても多すぎる。
×	○	×	多	地域が片寄っている。
△	×	—	多	人口の割にどうか、検討を要す。
○	○	◎	や多	他の町村にくらべてやや多い(人口割)
◎	○	◎	や多	人口が減っている。
○	×	○	や多	少なくすれば報酬が上げられるのでは?
?	—	○	や多	なし
○	○	○	や多	本当に町民のために(町のために)働いておられるのか?とを感じる方もあるため。
○	○	○	や多	1~3人減らしても十分な活動ができると考えます。70÷10=6日/月程度なので、もっと町民の声を聞けると考えます。
◎	◎	○	や多	地区公民館で各1名 人口濃度による加増
○	×	○	や多	定数以下でも議員活動は出来ると思われれます。
△	×	?	や多	人口に対して多いと思う
?	○	?	や多	本当にその人数が必要なのか?
○	○	?	や多	選挙をしても定数にみたない(一人二人のオーバー)で、無投票にならないために立候補する等の話をきいたことがある。そんな事なら、本当に町のためにやる気のある人にだけ議員になってほしい。高い報酬を支払われるので議員が多いと税金のムダだと思います。
◎	△	?	や多	町民の意見を吸い上げ町政に反映するには一定数が必要ではあるが15人程度でよいのではないか?人口で何人というのはあまり感心はしません。
○	○	?	や多	②人口の少ない町なので、議員数ももう少し少なくて良いと思います(減らしても仕事をこなせそうだと思うから)
?	○	?	や多	他の町と比較した場合
◎	○	?	や多	人口減
?	△	?	や多	人口も減ってきているので。

問 6 関心	問 8 視聴	問 9 評価	問 12 定数	議員定数について
○	○	?	や多	少数精悦議員に絞るべき
○	○	?	や多	15人以下の定数にしたらいいと思うが...
○	○	?	や多	何にもしゃべらん人がおる。
△	○	?	や多	町の人口に対してやや多いと感じる。もっと議員定数の少ない（人口に対して）市町村もある。
○	○	?	や多	境港市等と比較して
○	○	?	や多	人口が減っているのに少し多いのではないかな？
△	○	?	や多	人口とのバランス
?	△	×	や多	議員の役割を見直した方がいい
○	×	×	や多	それぞれが実際どんな仕事をしているのかわかりにくい。
○	×	×	や多	議会だより等を見ると、「なぜこのような？」と思えるような請願・陳情を出しておられる議員がおられたため。
△	×	×	や多	多数決で採決されるので、もっと人数が少なくてよい。
◎	×	×	や多	10人位でもやれませんか。討論内容が「何か」でたとえ大変であっても答えは1つになると思います。
○	△	×	や多	自治体規模に比例していない。他町村と比しても多い。
○	×	×	や多	人口減少
◎	×	×	や多	無投票になりそうなら無理に能力のない人が立候補するより○人程度少なくすべき。
○	×	×	や多	名前と顔が出て来ない。議会での質問も一般的。
○	◎	×	や多	人口からするともう少し少なくてもいいと思う
◎	△	○	適当	以前より少なくなった。
×	×	?	適当	興味がない為
○	×	?	適当	多くもなく、少なくもない適切に討論できる人数だと思いました。
○	△	?	適当	よくわからない
?	△	?	適当	そもそも定数が何人だったか知らなかった
△	×	?	適当	今以上に増えれば多いと思いますが、現状妥当なラインだと思います。
○	×	?	適当	生活圏で区割りし、各○名程度あれば町民意見も反映されるのではないかと思ったから
?	×	?	適当	近隣の市町と概ね同定数のため
△	×	?	適当	同じ人ばかり。
?	×	?	適当	琴浦町は合併しているので、定数16人ぐらいが適当ではないかと思っています。
×	×	?	適当	理由はよく分からないけど、適当なのではないかと
×	△	?	適当	町民人口に対しての割合で適当だと思う
△	△	?	適当	町民人口に対して適当

問 6 関心	問 8 視聴	問 9 評価	問 12 定数	議員定数について
×	△	?	適当	ちょうど良い。
?	○	?	適当	適当だと思うが、今後人口の減少の時はどうするのか、考えていてほしい。又、議会だよりに16人が質疑等をして記載してほしい。
?	△	?	適当	赤碓地区、東伯地区、併せて16名は適当と思われる。
○	×	?	適当	各議員さんの活動内容を私は理解していません。各議員さんのスローガンの成果・活動が充分であれば良いのでは…。それが町政に反映されていること。
△	×	×	適当	有権者数に対する議員定数として適当であると思うが、予算枠からすると、あと○人減らしても良いのではないだろうか。
◎	○	×	適当	一人でも活動できる能力は限られているから。
◎	◎	—	適当	少なくなると、議論に町民の意思が反映されにくくなる。
○	△	◎	や少	定員が16人に決まった理由があると思うが、私はわからないので適当だと思う。
△	△	?	—	多いか少ないかよくわかりませんが、必要最小限の定数でよいかと思えます。
?	○	?	—	わからない。
○	×	?	—	このアンケートの紙面に、現在の町の人口、有権者数の表示がないため、多いも少ないもとっさに答えることが出来ない。議会だより60号をつぶさに見たが表示されていない。(探し方が悪いかもしれないとも思いながら...) 漠然と多いような気もするが、正しい判断とも思えない。設問が大雑把すぎないかと思う。
△	×	×	—	わからない。
×	○	×	—	判断出来る情報がない
○	○	×	—	定数16人の決定基準がわからない為多いか少ないかよくわからない。

3. 議会の評価（問9）等に基づく議員報酬（問13）に関する意見の整理

まとめ

- ・ 報酬が「多い」または「やや多い」と回答した人には、「報酬に見合う活動を行っているのか」という意見が多い。
- ・ 議員の活動実態が分からないので、「報酬は多い」という人と「報酬を判断できない」という人が一定数いる。
- ・ 報酬が「少ない」または「やや少ない」と回答した人の中には、定数を少なくして報酬を上げてはどうかという意見がある。
- ・ どの意見に関しても「議員の活動内容が分からない」という人が一定数いる。

凡例

質問	記号
【問6】 議会に関心があるか	◎：ある、○：少しはある、？：どちらとも言えない、△：あまりない、×：ない
【問8】 会議放送の視聴をしたことがあるか	◎：各会期 1 回以上、○：年に数回、△：年に 1 回、×：ない
【問9】 総合的に評価できると思うか	◎：思う、○：少しは思う、？：どちらとも言えない、×あまり思わない

意見は、報酬が「多い」、「やや多い」の順に掲載している。会議放送を視聴していて、かつ議会に関心がある人の意見を強調した。

問6 関心	問8 視聴	問9 評価	問13 報酬	議員報酬について
○	×	○	多	ムダな時間が多い
×	×	○	多	町ではボランティアで動いておられる方々も沢山いる。町のために本気になっていただける方に議員として動いてもらいたいのはもちろん、わずかな報酬で議員をやられている所もあり(県外)。報酬は汗をかいて苦勞して得るもの。必ずその額が必要な訳ではない。
○	○	○	多	一般成人は 22~24 日/月働いており、224000 円は高すぎると考えます。
?	○	?	多	日額にすると 3 万円ちょっと。多く感じる。
△	×	?	多	そんなにいらなと思う
○	○	?	多	ふだん何をされているのか全くわからない。自分の仕事と掛けもちでされていると思うので、そんなに高い議員報酬は必要ないし、そこまでの能力のある方が議員をされているとも思えません。本当に議員としての仕事されてますか？レベルでは？
?	×	?	多	年間 70 日、月で約 1 週間行くか行かないかなのになぜその金額？。私達は 1 ヶ月 20 日間働いてその半分なのにしてしまいます。今、琴浦町では保育料の無償化など力を入れておられますが、私自身、高校生の子供がいますが子供が高校に上がるとお金もかかり、なのに子ども手当はなくなり、子供は大学に進学したいと言いますが、金銭的にも不安で仕方ありません。
?	×	?	多	町民のための議会をしていないのに、高額すぎる！！町の職員さん(臨職)は手取り 10 万円位と聞いている。職員より活動していないのに高収入はおかしい！！
○	×	?	多	報酬に見合う活動をやっているのか。もらいすぎだと思う
×	×	?	多	一ヶ月無休で働いても、どんなに残業してもそんな金額はもらえないから
△	○	?	多	月平均 5~6 日程度でこの給与は多すぎる
×	△	?	多	全議員が同じように活動を行っておられるとは思えないのに全員一律というのはどうかと思う。
?	△	×	多	各自の議員活動を月額にあった活動しているのか見えない部分が多いから
×	×	×	多	月給ではなく日当にしてほしい。日当 8000 円とか→(例)。一般の会社員は、残業しても、そんなにもらえないのに、多すぎると思う。

問6 関心	問8 視聴	問9 評価	問13 報酬	議員報酬について
△	×	×	多	一般社員の報酬は、おわかりですか
◎	○	×	多	70日程度で224000円は、月6日間程度である。6日で224000円は多い。活動は議員によって差があるためむずかしいと思う。活動が見えない議員がいるためやはり多いと思う。
△	×	×	多	日割・時間給にしたらいくらになっていると思いますか！もらいすぎだろう！！とぼけるな
？	○	×	多	何の活動をしているのか、人のあらさがしばかりしているように見える。
◎	×	×	多	町民が普通に働いていても22万4千円もらっている人は田舎では少ないはずで、パートさんは少ないのを承知されているのだから他の用事ができています。
△	×	×	多	一般的な、会社員の1/3程度の実労働日数を考えると月額10万円程度でいいと思う。
×	○	×	多	たまに議会風景をテレビで見るが、とても報酬に見合う質疑やりとりと思えない
◎	◎	×	多	ほとんどの議員が定年退職であり、年金+224000円の報酬は考えられない。年金で暮らしている人の事を考えれば減らして当然。一般の人との差が大きい。議員自身、多少なりともボランティア精神があってもよいのでは。
○	×	×	多	財政難のため。
△	×	×	多	議員全員が本当に活動等をしているのか疑問です。
○	◎	×	多	仕事をしていない。
×	○	×	多	日当性にするべき
○	×	—	多	各自で議員調査活動等...その内容がグレーすぎる
○	○	○	や多	拘束される議会日は月平均にすると6日。自主活動の様子がほとんど見えない方もあり、多いのでは...と感じる。(やっておられると思うのですが...)
○	○	○	や多	一回の登庁38400円に値する議論をする人、しない人。副業的にしているような議員さんがいるのでは...?
◎	◎	○	や多	兼業議員と専門議員とわかれるので一概にはとらえられない。
？	△	？	や多	年間70日程度でその月額に見合う働きができているのか。他の活動もあるので極論だが、月6日(年間70÷12)の登庁で22万ということになる。
○	×	？	や多	月額報酬を抑え、支給上限を設けた上で活動実績に応じた政務活動費を支給することとしてはどうか。
○	○	？	や多	議員定数を減らせば適当だと思います
△	×	？	や多	登庁日以外の活動内容が明確ではない。5~6日/月程度の登庁、拘束時間に対しては多いと思う。活動内容が各議員さんで違うと思うが、何も活動しなくても支払われているように感じる。
△	△	？	や多	70/12≒6日/月 224000×12=2688000 224000/6=37300円/月
？	○	？	や多	町の為に仕事をしとられる人はいいが、あまり活動をしてない人がおられるから。
○	○	？	や多	国民年金受給者と同額、もしくは1回の登庁で15000×70=1050000

問 6 関心	問 8 視聴	問 9 評価	問 13 報酬	議員報酬について
○	×	×	や多	問 12 の理由と同じ
○	○	×	や多	それに見合った成果は？
—	○	×	や多	単純計算ですが、一議員 2688000 円の活動が出来たかが町民の方にも価値で判断されると思います。
○	×	×	や多	多いと思うが議員のなり手がいないのが残念。
？	△	×	や多	議員定数が少なくなれば適当かも
○	◎	×	や多	議員さんでも色々な催し、会等に出席される人もあればほとんど顔を出されない人もある。もっと、顔を出された方がいいと思う。
○	△	◎	適当	町民から選ばれて町民の為働いて下さるので適当だと思う。
○	○	○	適当	私が毎日働いて月額 10 万くらいしか収入がないことを思えば多く感じますが、議員の仕事は大変だと思うので。
×	×	？	適当	内容等全くわからないが、それなりの活動をしているのであれば妥当な報酬だと思う。
○	×	？	適当	気持ちもう少し多くても良いと思ったが、このくらいでも十分だと思いました。
○	△	？	適当	よくわからない
△	×	？	適当	政務活動費の支給がない中でこの金額ならば、多いということはないと思います。
○	△	？	適当	×12 か月？
◎	△	？	適当	会議のない日の活動は議員によりいろいろであると思われるが、平均して活動されるのに対しその対価としては適当なのかなと思う。
△	△	？	適当	調査活動を含めれば適当
△	○	？	適当	報酬が低いからしない！高いからするという意識ではいつまで経っても町政は発展しないのでは！
×	△	？	適当	頑張ってもらえば良い。
○	×	？	適当	臨時報酬のようなものはないか。ただの月給だけか。
？	△	？	適当	議員それぞれの活動内容によって判断は変わります。
？	○	？	適当	あまり報酬を減らしたら立候補しないのではないか。
○	○	？	適当	定数を減らしていくと、今までの月額でいいと思う。町民の税金で支払っているの。
○	○	？	適当	比較する資料がわからない
△	×	×	適当	政務活動費の支給を行い、町の暮らしがどのようになっているか、もっと身近に歩いていただきたい。
△	×	×	適当	登庁日数 70 日からすると充分すぎると思います。
◎	○	×	適当	何か手当があるのか？
○	△	×	適当	頑張っている議員には増額が必要と思われるが、多くの議員は働いていない。
◎	×	×	適当	報酬の高い安いより町を住みやすくする熱意の問題。
○	○	◎	や少	民意を聞いてまわっているなどの話をあまり聞かない。調査活動等を行っているのか？

問6 関心	問8 視聴	問9 評価	問13 報酬	議員報酬について
○	×	○	や少	少ないと思う。
○	△	○	や少	議員職だけでは生活苦しいのでは？
△	×	？	や少	もっと上げてもいいと思います。そのかわりに議員の人数を減らす。月額が少ないと議員になろうと思わない。
？	×	？	や少	自分が議員になったとして考えた場合、今の報酬ではなりたくないと感じたため
◎	◎	？	や少	報酬増やす
○	○	？	や少	もっと報酬が多いと思っていた。当庁日数も少ないと思う。
○	×	×	や少	報酬を少し増額し活動の日数も増して下さい。
○	○	×	や少	定数の見直しにより定数を少なく出来るならば報酬を増額して良いと思う。
◎	◎	—	や少	各自の活動等はバラツキがある、また見えにくい。
◎	○	◎	少	議員手当だけでも生活が出来る様になったら好い
○	○	○	少	現在の報酬をそのままに、人数を減らして、議員報酬で生活ができる待遇にすべきである。そうすれば、もっと優秀な議員が出るはず。
？	○	×	少	定数を減らして一人当たりの給料を上げて、若い人でも十分専業で生計が立つような魅力ある職業になるべき
○	◎	×	少	議員が不勉強な現状が見える。政務活動を支給し、調査活動を積極的に促すべき。報酬が少ないと、自然。兼業や年金受給者が多くなり、民意を反映しにくくなっている。金銭的成功者の議員では、生活弱者の声が反映されていない。
○	△	×	少	上記に同じ、報酬を上げ、また必要な活動費は支給すべきだと思います。(人数を1/2に、報酬は倍に)
◎	○	×	少	議員報酬総額はそのままにして定数を減らし、月額を上げ活動がしやすい様にする。
◎	◎	○	—	金額が多いのか少ないのかがわからず。
○	×	○	—	活動内容によると思うので、一律というのには疑問を覚える。
△	△	？	—	多いか少ないかよくわかりません。調査活動は具体的に何をやっているのかもよくわかりません。
○	×	？	—	ただ、登庁日数だけをみると多いと思い、政務活動量なそといわれると、判断に困る。任期があることを思うと少ないような気もする。世間の給与規程などと無縁に暮らしていると多いも少ないもいいようがないのが本音、いっそボランティアにして、実費（日当と交通費）だけというのはどうだろうとも思う。
○	×	？	—	各議員さんの活動のまとめ etc 私自身知ることが必要と思っています。
△	○	×	—	70日÷12か月＝5.8日（登庁日の労働時間が8時間に満たない）鳥取県最低賃金約6000円×6日×2倍＝72000円で十分。（郷土の町民に奉仕する気概の無い人は失格）
△	×	×	—	わかりません。

以上